

山形県地域公共交通計画 (案)

R3年3月

山形県地域公共交通活性化協議会

山形県

山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、
村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、
中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町、金山町、
最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、
川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町

目次

1. 計画の概要	1
1-1 はじめに	1
1-2 計画の位置づけ	3
1-3 県の上位計画・関連計画との関係	4
1-4 各市町村の公共交通政策との関係	8
1-5 計画の区域	9
1-6 計画の射程	10
1-7 計画の期間	10
2. 山形県の地域特性の現状	11
2-1 社会経済、自然環境の状況	11
2-2 自動車保有台数、免許保有者数・返納者数の状況	25
2-3 移動の実態・特性	29
2-4 インフラ・施設動向（インフラ整備、主要施設の立地・移転等）	41
3. 県内地域公共交通のサービス水準・担い手	46
3-1 県内地域公共交通の概況	46
3-2 県内地域公共交通の利用環境の現状	85
3-3 県内地域公共交通事業者の現状	102
3-4 県内各市町村の公共交通の問題点・課題	112
3-5 感染症や自然災害等の緊急時における地域公共交通の課題	119
4. 持続可能な利便性の高い地域公共交通の実現に向けた課題	122
4-1 県全体の課題	122
4-2 ネットワーク階層別に見た課題	123
5. 基本的な方針	127
6. 計画の目標	129
7. 目標達成のための施策・事業	133
8. 計画の達成状況の評価	149
8-1 評価の考え方	149
8-2 評価を踏まえた対応方向	150
8-3 計画の推進体制	153
<計画付則>	155
1. 県内の地域公共交通確保維持改善事業関連計画	155
2. 山形県地域公共交通情報共有基盤の構築・運用について	156
3. 山形県 市町村間幹線バス路線の見直し方針	168
4. 鉄道との接続を前提とする県内二次交通一覧	197
<計画の作成・実施・評価にあたっての参考資料>	199
更新履歴	200

1. 計画の概要

1-1 はじめに

本県においては、道路交通網の整備の進展や郊外部への市街地の拡大などを背景に、自家用自動車が普及するとともに、公共交通離れが進み利用者が減少している。そのため、公共交通事業者の収支悪化を招き、減便や路線廃止などのサービス水準や利便性の低下につながり、さらに、利用者の減少を招くといった状況にある。

本県の人口を見ると、1985年（S60年）の約126万人以降減少し続け、2021年（R3年）には約106万人となっており、今後さらに減少していくことが見込まれている。そのため、公共交通利用者の減少だけでなく、高齢化に伴う運転手不足が深刻な問題になることが懸念される。

地域公共交通は、利用が低迷している一方で、高齢者の買い物・通院や高校生の通学などといった日常生活の外出手段として、また、観光・交流のアクセス手段として、地域内及び市町村をまたぐ地域間を繋ぐ重要な役割を引き続き果たしている。

また、本県では高齢者人口が一貫して増加してきており、高齢者の免許自主返納者の増加によって、地域公共交通に期待される役割は一層増すことが予想される。加えて、自家用車を運転できない・持たないことが多い若者の通学や通勤手段の確保、首都圏などの公共交通が充実した地域からの移住・定住希望者の受け入れ等、地域公共交通のニーズはさらに拡大し、かつ、多様化していくと見込まれている。

一方で、運転手不足などの直接的な担い手不足に加え、利用低迷による減収で交通事業の経営環境は厳しく、それを支える自治体の財政負担も年々増加している。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた新しい生活様式の中で、輸送密度が低下し、かつ、感染拡大防止のための追加の負担も強いられることとなったため、交通事業の経営はかつてない深刻な状況にある。

こうした状況に対し、地域の人口移動や施設立地の変化、ライフスタイルの変化に伴う生活圏や観光圏の広域化により、市町村を超えた広域の移動ニーズが増加しつつある現状も踏まえれば、もはや個々のサービスを供給する事業者やそれぞれの地域の自治体が単独で地域公共交通の持続的な利便性確保を図っていくことは極めて困難になってきている。そのため、今後は、山形県と県内全市町村をはじめ、地域公共交通に関係する県内の様々な主体が幅広く連携し、持続可能で利便性の高い地域公共交通の維持とその強化に向けて取り組んでいく必要がある。

2014年（H26年）11月には、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地域公共交通活性化再生法）」が改正されたことにより、鉄道とバスとの連携や、まちづくりとの連携等の新たな視点を盛り込んだ「地域公共交通網形成計画」の策定が求められ、また、2019年（H31年）度には、国土交通省による交通圏全体を見据えた地域公共交通ネットワークの再構築に向けた取り組みの後押し（トライアル推進事業）が拡充された。

加えて、R2年には地域公共交通活性化再生法等が再改正され、都道府県と市町村が協働して策定する「地域公共交通計画」（地域公共交通網形成計画を改称）の普及と計画の実効性の確保が促進されることとなった。新たな地域公共交通計画においては、「広域の移動の確保」と「輸送資源の総動員」が特に図られるべきものとされ、また、計画のPDCAを適切に実施ししていく上での定量的なKPIの設定が重視されている。

こうした国の制度改正も受け、山形県と県内全市町村による地域公共交通計画を策定することとしたものである。

なお、広域の移動を輸送資源の総動員で確保していくという計画の趣旨に鑑み、かつ、本県の現状も踏まえれば、本計画は、個別の交通事業の利便性向上を図るのみの計画ではなく、県民や来訪者の「移動」全体の利便性の向上を図るものでなければならない。また、「移動」が地域の経済・

社会を支える「手段」である以上、地域の経済・社会の様々な変化に対応し、常に変わり続けるニーズに対応することが必要である。

本計画は、完成形を固定し、一定期間で特定の事業を実施するための計画ではなく、「移動」の利便性向上を様々な関係者の取組みを連携させて実現していくための「インフラストラクチャー」としての機能を有する計画となるべきである。

すなわち、関係者がデータを集め、分析し、サービスを改善していくためにどのような「役割分担」をすればよいかを明文化し、役割分担に基づく情報共有や協議を進めるための「場／箱」を準備するためのものとなる。

そのため、本計画は、「様々なデータが集まり、様々な関係者の取組みが一覧できる」ことを主眼としており、記載の統一感といった「計画の書類としての見栄え」よりも役割分担が明確で取組みや情報が記載しやすい・一覧しやすい網羅性を備えているかという「計画のインフラストラクチャーとしての機能」が最優先される。

一度決めたことを墨守するための計画ではなく、どうやって考え、改善していくかの基盤となる「試行錯誤をしながら成長する計画」として、本計画が山形県全体の「移動」の利便性向上の基礎的なインフラストラクチャーとして、山形県の発展と併せ、「進化」していくことを目指す。

1-2 計画の位置づけ

山形県では、総合計画である「第4次山形県総合発展計画」（R2年度から概ね10年間）を策定している。

地域公共交通分野においては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（H19年法律第59号）」第6条第1項の規定に基づき、R2年4月24日に「山形県地域公共交通活性化協議会」を設置し、関係機関との協議・調整を図ってきた。

本計画は、県の最上位計画である「総合計画」と整合を図るとともに、山形県の関連計画や各市町村が策定または策定予定の地域公共交通関連計画との連携を図り、県内の地域公共交通全体の持続可能な利便性向上を図るための、山形県及び県内市町村策定の「地域公共交通計画」とする。

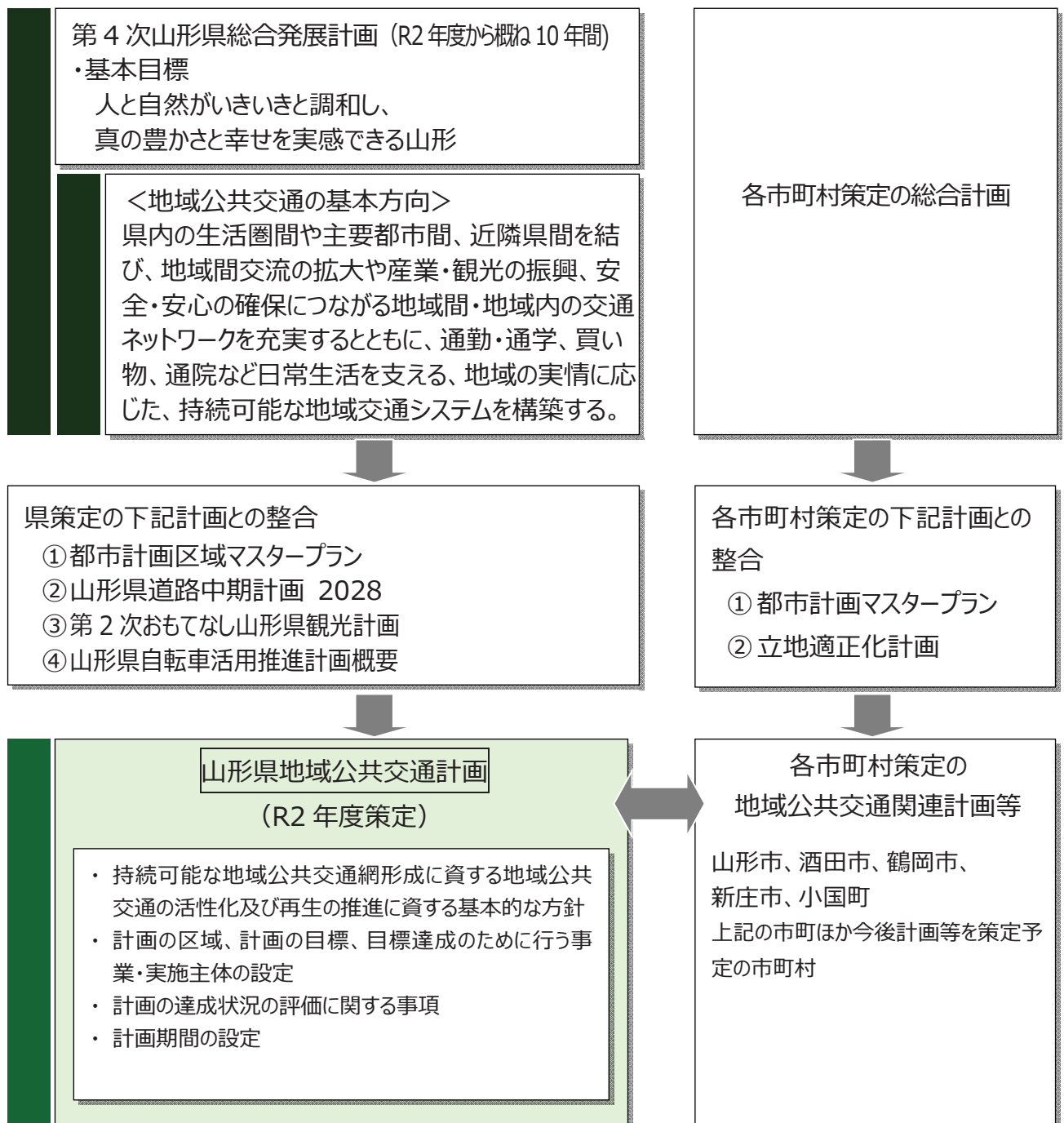


図 1-1 本計画の位置づけ

1-3 県の上位計画・関連計画との関係

本計画は、県の新幹線・航空路・海運を除く旅客交通の基本的な計画となるため、本計画内の記述及びその他の県計画との関係において何らかの齟齬が発生した場合、以下のとおりの優先順位となる。

- ① 上位計画である県の総合計画の記述
- ② 本計画の全県単位の記述
- ③ 本計画の地域ブロック単位の記述
- ④ 本計画の市町村単位の記述
- ⑤ 他の県計画の交通関連の記述

1-3-1 第4次山形県総合発展計画

第4次山形県総合発展計画（R2年度から概ね10年間）では、県づくりの5つの「政策の柱」において、観光地域としての受入環境の整備、国際ネットワークの形成、国内広域交通ネットワークの充実強化、地域間・地域内交通ネットワークの充実強化を促進するとしている。

また、将来的な方向性を骨太に示す「県土のグランドデザイン」では、都市と中山間地域からなる圏域において、域内及び域際間での相互の補完、交流・連携の関係を深め、人口減少のもとでも、生活サービスや都市的機能を確保し、地域の活力を維持していく方向性を示している。

さらに、県内の4つの地域（村山・最上・置賜・庄内）においても、それぞれの特性等を踏まえた、きめ細かな地域づくりを進めるとともに、4地域の活力が県全体の発展へとつながっていくよう、それぞれの地域が目指す姿や主な取組みの方向性について、「地域の発展方向」として定めている。

基本目標	人と自然がいきいきと調和し、 真の豊かさと幸せを実感できる山形
------	------------------------------------

【県づくりの5つの「政策の柱」】

- 基本目標の実現等のため、「①次代を担い地域を支える人材の育成・確保」「②競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化」「③高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化」「④県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり」「⑤未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用」の5つの「政策の柱」が設定されている。
- 「③高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化」において、以下の記述がある。
 - ・ 多言語案内表記の設置やキャッシュレス決済環境の整備、災害時の多言語での情報提供など、観光施設や宿泊施設、公共交通機関等における訪日外国人旅行者の受入体制を充実する。
 - ・ 県内の2つの空港や仙台空港等の近隣県の空港、鉄道、高速道路（高速バス）等の活用による、県内外の多様な観光資源をつなぐ広域観光周遊ルートを形成するとともに、シームレスに移動できるよう交通ネットワークの利便性を向上する。
- 「⑤未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用」において、以下の記述がある。
 - ・ 国際チャーター便の誘致拡大や将来的な国際定期便の就航に向け、滑走路延長をはじめ、空港の機能強化を検討する。
 - ・ 羽田空港や成田空港等、三大都市圏の空港との乗り継ぎ利便性を強化するとともに、近隣県の国際空港との二次交通の整備などにより、空港間の連携を促進する。
 - ・ 周遊観光など広域的な移動を支える、空港や駅を起点とした二次交通を充実する。
 - ・ コンテナ貨物やバイオマス発電燃料等の取扱貨物量の拡大、外航クルーズ船の寄港増加に向け、酒田港の機能強化を推進する。
 - ・ 羽田便をはじめ三大都市圏との航空ネットワークを維持・拡充するとともに、増便や機材大型化、利便性の高いダイヤの確保等に向けた利用拡大を推進する。
 - ・ 新たな国土発展や国全体のリダンダンシー機能の強化にもつながる、奥羽・羽越新幹線の整備実現に向けて、関係機関との連携による機運醸成や要望活動等の取組みを推進する。
 - ・ 地域間の幹線となる路線バスや高速バス等のネットワーク拡充、鉄道の利便性向上等を促進し、道路とともに重層的な交通ネットワークを確保する。
 - ・ 地域の多様な移動資源の活用、新たな技術やモビリティサービスの導入、バリアフリー化や多言語化等を促進し、多様なニーズに応え、住民も来訪者も使いやすい地域交通を維持確保する。
 - ・ 地域内の円滑な移動に向けて、鉄道・バス・タクシー・自家用有償旅客運送等の交通モード間の相互連携・補完を促進する。
 - ・ 多頻度小口輸送の進展等に対応した、地域における物流の効率化を推進する。
 - ・ 市町村の取組みへの支援や土地利用規制の適切な運用のもと、地域公共交通の再編とも連動した居住機能と都市機能の集積を進め、市街地の拠点性と利便性を高めていく。

【県土のグランドデザイン】

- ・ 「生活圏」の形成にあたり、圏域内での移動の利便性を向上させるため、道路、バス、鉄道等の地域公共交通ネットワークの充実を進めていく。
- ・ また、高齢者・障がい者・中高生等の交通弱者への対応として、地域交通事業者やNPO等と連携し、コミュニティバス、デマンド交通など多様な移動手段を確保するとともに、自動運転やMaaSといった新たなモビリティサービスの導入にも積極的に対応していく。

表 1-1 各地域の発展方向（「第4次山形県総合発展計画」より）

村山地域の発展方向	最上地域の発展方向
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・研究、文化・スポーツ、医療などの機能集積の強みを活かし、県内外から人材が集まり、人々が多様多彩に活躍している。 ・ ものづくり産業と大学や試験研究機関等との連携により、新たな産業のイノベーションが生まれるとともに、農業など地域の強みを活かした産業群の形成が進展している。 ・ 中核市である山形市を中心とした「連携中枢都市圏」の形成により、東南村山、西村山、北村山の3つの地域の連携のもとで、産業・観光の振興や生活利便性の確保など、それぞれの強みを活かした取組みが進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住まう地域に誰もが愛着と誇りを持ち、四季を通していきいきと暮らせる地域社会が形成されている。 ・ 先人が守り伝えてきた豊かな自然をベースに、高い実践力と豊かな創造力に裏付けられた農林業を起点として、地域に新たな価値と活力が創出されている。 ・ 東北中央自動車道と新庄酒田道路・石巻新庄道路の十字連携軸の整備・機能強化が進み、東西と南北の交通の結節点となる地の利を活かした広域的な人やモノの交流が拡大している。
置賜地域の発展方向	庄内地域の発展方向
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の技術力を結集したイノベーションにより新たな価値が創出され、ブランド力を活かして産業の収益力が向上している。 ・ 「人生100年時代」の到来に向け、多様な主体と連携した健康づくり活動拠点の形成が進み、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの取組みが進展している。 ・ 宮城・福島両県や関東・首都圏との近接性を活かした「県南ゲートウェイ」としての発展基盤の確立に向け、交通アクセスの強化が進展している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが安心して暮らすことができ、誰もがいきいきと活躍できる地域コミュニティが形成されている。 ・ ものづくりから農業に至るまで、全ての産業分野にわたるイノベーションにより、地域経済が持続的に発展している。 ・ 先人が育んできた精神文化や食文化、豊かな自然環境などの強みを活かし、空と海の2つのゲートウェイを起点として「人」と「モノ」の交流がグローバルな規模で展開されている。

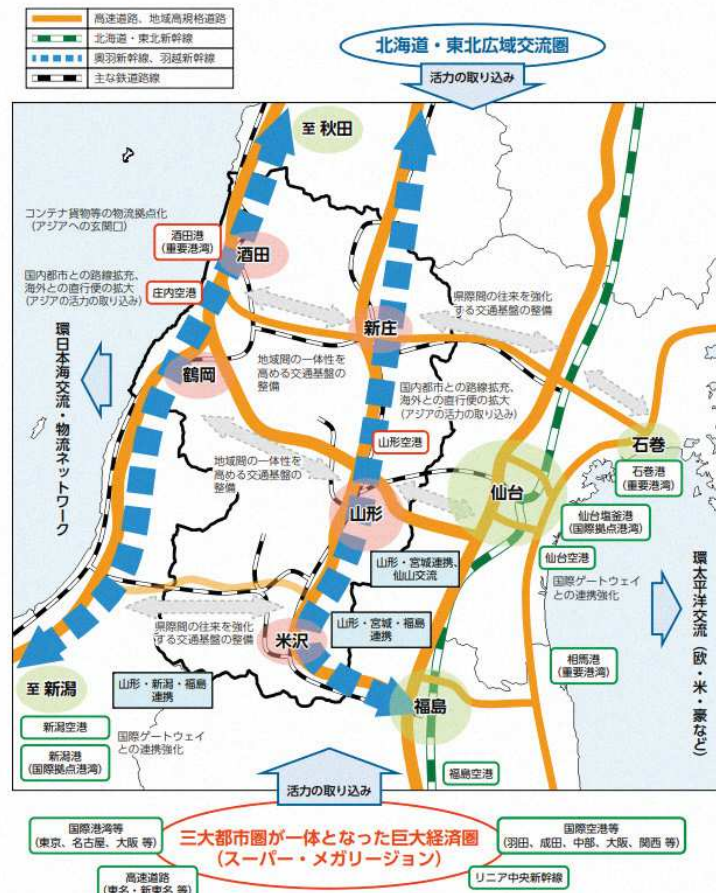


図 1-2 交通ネットワーク形成の将来イメージ

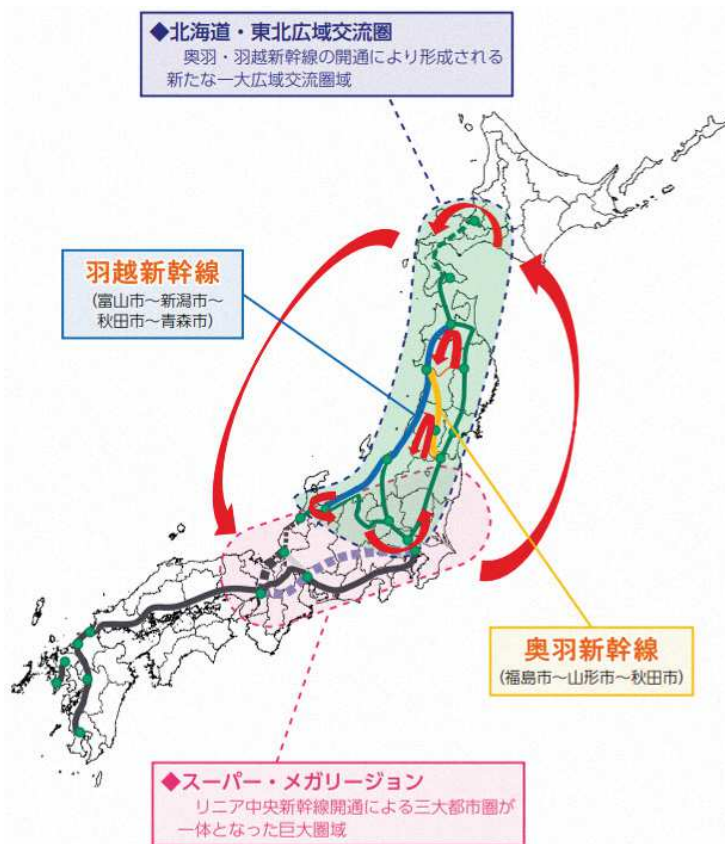


図 1-3 国土における新たな広域交流圏域形成の将来イメージ

※図 1-2、1-3 とも、「第 4 次山形県総合発展計画」の「県土のグランドデザイン」より

1-4 各市町村の公共交通政策との関係

本計画は、県と市町村が連携する計画として、県全体及び県内の市町村間をまたぐ移動についての計画であることが主となる。

一方で、「移動」全体の利便性を向上させるためには、市町村間をまたぐ移動と市町村内の移動とがスムーズに繋がることで初めて実現するものであること、また、県内の「移動」に関する「様々なデータが集まり、様々な関係者の取組みが一覧できる」ための計画であるという趣旨に基づき、市町村内に完結する移動の現状や取組みについても、当該市町村の望む範囲で記載している。

計画の広域性に鑑み、本計画は市町村計画の上位計画となることが自然と考えられるため、以下の各計画については、それぞれの作成市町村の同意を得て、本計画を上位計画として位置付けることとする。

ただし、個別に市町村の地域公共交通網形成計画・地域公共交通計画が存在するところについて、それら市町村の交通関連計画の記載と本計画の記載とに齟齬がある場合には、地域の実状を踏まえた市町村の交通関連計画の記載が優先される。

表 1-2 本計画を上位計画として位置付けることに同意した市町村とその交通関連計画の一覧

分類	県内市町村
地域公共交通計画 (網形成計画含む)	山形市、酒田市、鶴岡市、新庄市、小国町
都市計画マスタープラン	米沢市、村山市、東根市、南陽市、中山町、高畠町、川西町、白鷹町
その他の計画等	南陽市立地適正化計画 白鷹町立地適正化計画

1-5 計画の区域

本計画の対象区域は、山形県全域とする。

注) 県境を原則的な区域界としつつ、一部、隣接県へ繋がる交通サービスについては計画に含む。

また、県総合支庁の管轄に合わせた4ブロック（村山・最上・置賜・庄内）を対象として地域ブロックを設定する。



地域	市町村	定住自立圏/山形連携中枢都市圏
村山	山形市	山形連携中枢都市圏
	寒河江市	
	上山市	
	村山市	
	天童市	
	東根市	
	山辺町	
	中山町	
	河北町	
	西川町	
	朝日町	
	大江町	
	尾花沢市	
	大石田町	
最上	新庄市	新庄最上定住自立圏
	金山町	
	最上町	
	舟形町	
	真室川町	
	大蔵村	
	鮭川村	
	戸沢村	
	新庄市	
米沢市		
長井市		
南陽市		
高島町		
川西町		
小国町		
白鷹町		
飯豊町		
米沢市		
庄内	酒田市	庄内北部定住自立圏
	遊佐町	庄内北部定住自立圏
	三川町	
	庄内町	庄内南部定住自立圏
鶴岡市	庄内南部定住自立圏	

図 1-4 計画対象区域

1-6 計画の射程

道路運送法及び鉄道事業法に基づく交通事業を主とするが、交通事業を補完する形で人々の移動手段を担う様々な運送サービスについても可能な限り取り扱う。

- (1) 路線バス
- (2) コミュニティバスやデマンド交通等の公営交通
- (3) 高速バス・都市間バス
- (4) タクシー
- (5) 空港、港湾（空港アクセスバスなど主として二次交通）
- (6) 鉄道（新幹線ダイヤとの接続も重視しつつ、在来線・地方鉄道を主とする）
- (7) 交通サービス以外の旅客運送（福祉移動サービス、施設送迎バス等）
- (8) 旅客運送以外の移動サービス（レンタカー、運転代行等）

1-7 計画の期間

R3年度からR7年度までの5年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況を毎年度確認することとし、目標達成のための施策・事業についても適宜見直した上で、その状況に応じて延長することも可能とする。

2. 山形県の地域特性の現状

2-1 社会経済、自然環境の状況

2-1-1 人口減少・高齢化

山形県の人口は112万人（H27）で、減少傾向にあり、今後は人口がさらに急速に減少することが予測されている。また、高齢化率は31%（H27）であり、年々増加傾向にある。

山形県の人口減少や高齢化は、全国平均や東北平均に比べて、進行している状況にある。

そのような状況の中、県内4地域を比較すると、最上地域と庄内地域、置賜地域は山形県平均よりも人口減少の進行度合いが早く、特に最上地域と庄内地域は高齢化の進行度合いも早い。



図 2-1 山形県の人口の推移と将来推計

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

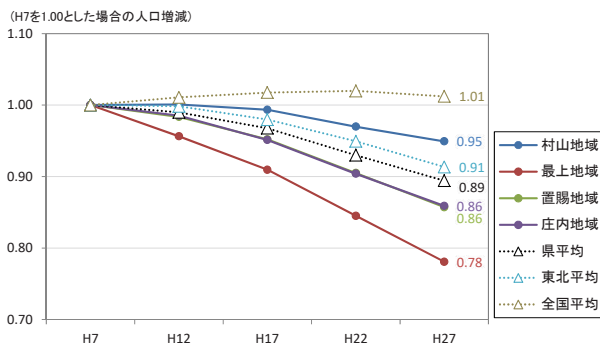


図 2-2 総人口の地域別の変化状況 (H7=1とした場合)

資料：国勢調査

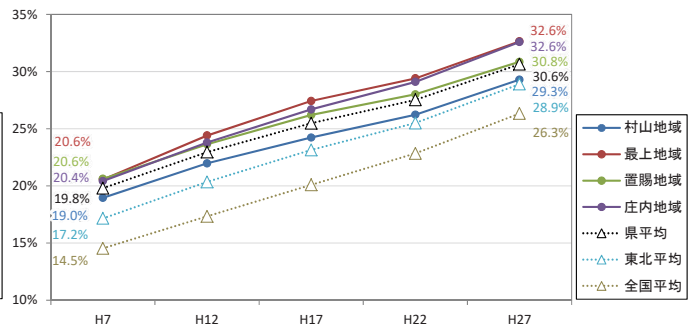


図 2-3 高齢化率の地域別の変化状況

資料：国勢調査

H27/H7の県内市町村の人口増減率の平均値が0.82、同じ20年間の高齢化率の増加ポイント数の平均値が11.6となっており、その平均値を基準として市町村の特性分析をすると、例えば、比較的高齢化が進行しておらず、人口が増加しているのは東根市と天童市の2市となっている。

一方で、比較的高齢化は進行しており、人口減少率も高いのは11市町村となっており、当該市町村においては、公共交通の視点で見ると、移動需要自体の減少が進むとともに、高齢に伴う身体的な状況の変化等に留意した移動サービスの必要性が増している。

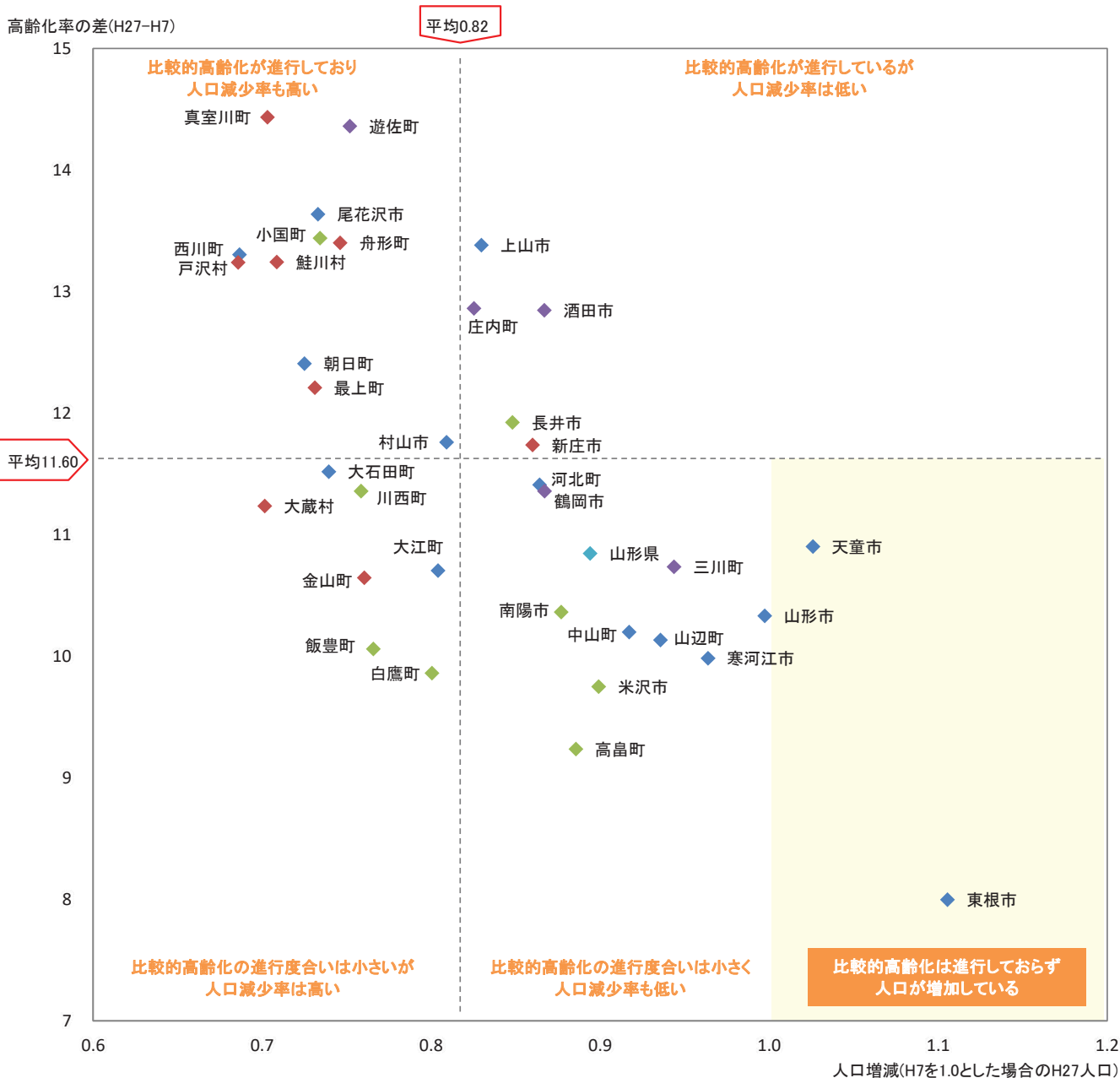


図 2-4 人口増減率 (H27/H7) と高齢化進行度 (H27-H7) 合いの関係性 (市町村の特性分類)

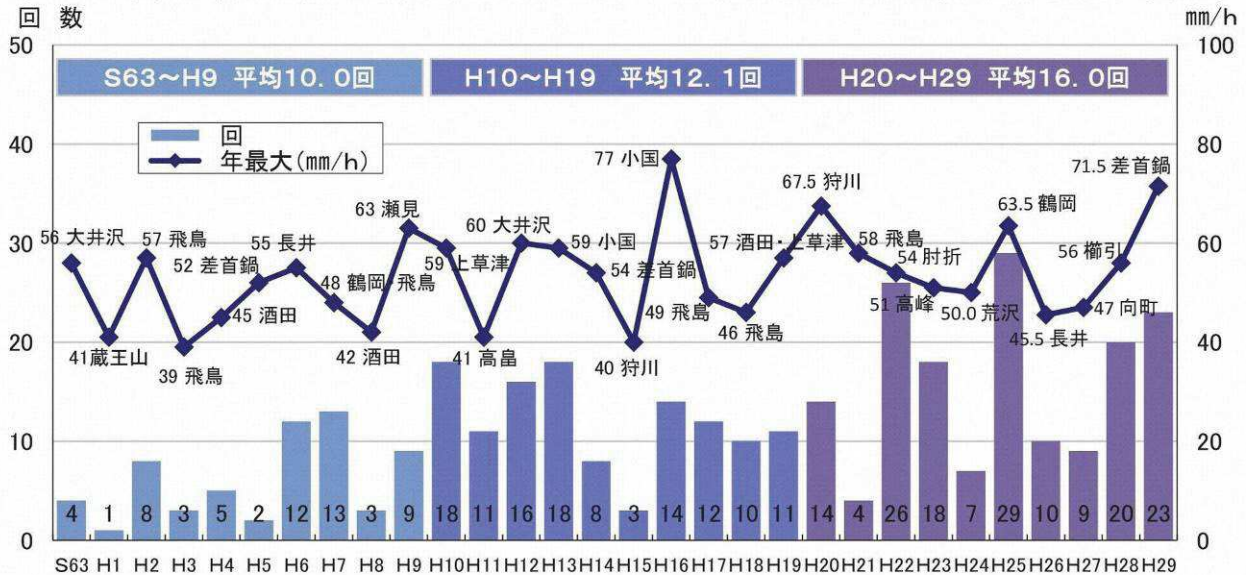
注) 県内市町村の人口増減率 (H27/H7) を横軸として、H7年からH27年の20年間の高齢化率の増加ポイント数を縦軸にして、各市町村のデータを分布図にしたもの

資料: 国勢調査

2-1-2 気象・自然環境

地球温暖化などの影響と考えられる世界規模の環境変化により、山形県においても、集中豪雨の頻発化など、局所的に激甚化した自然災害が増加傾向にある。また、山形県は、全域が豪雪地帯に指定され、そのうち76%が特別豪雪地帯であり、山間部を中心に東北で最も積雪が多く、厳しい自然条件である。

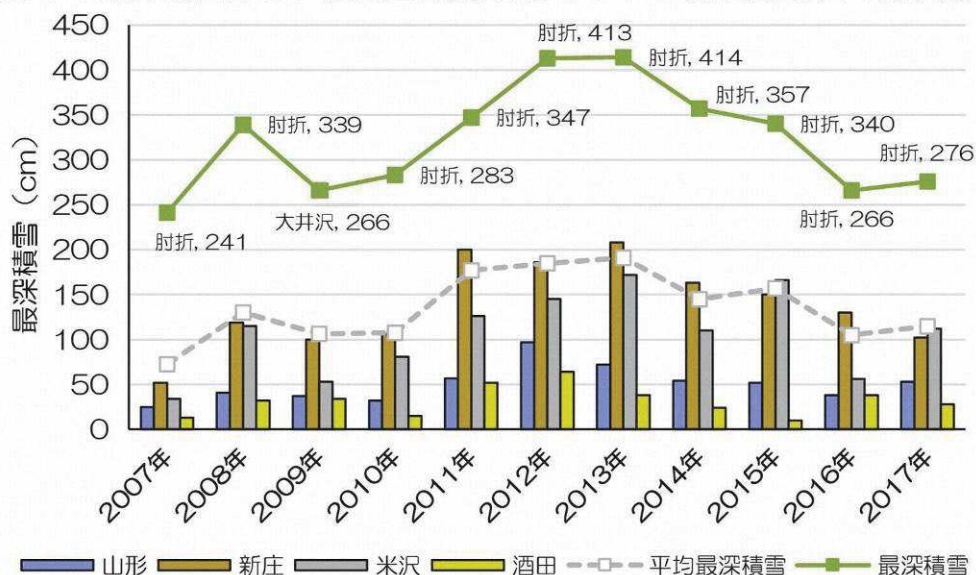
県内の気象庁観測地点で時間雨量 30 mm以上※を観測した回数と最大時間雨量（年度）



※北村山、庄内南部、最上の大雨注意報発令基準が 30 mm/h 以上であるため、これを参考に基準設定して検証。
なお、東南村山・西村山・庄内北部は 40mm/h 以上、東南置賜・西置賜は 35 mm/h 以上。

出典：山形地方気象台観測データによる山形県まとめ

県内主要都市の最深積雪深と、県内全観測地点での平均最深積雪深、最深積雪深（暦年）

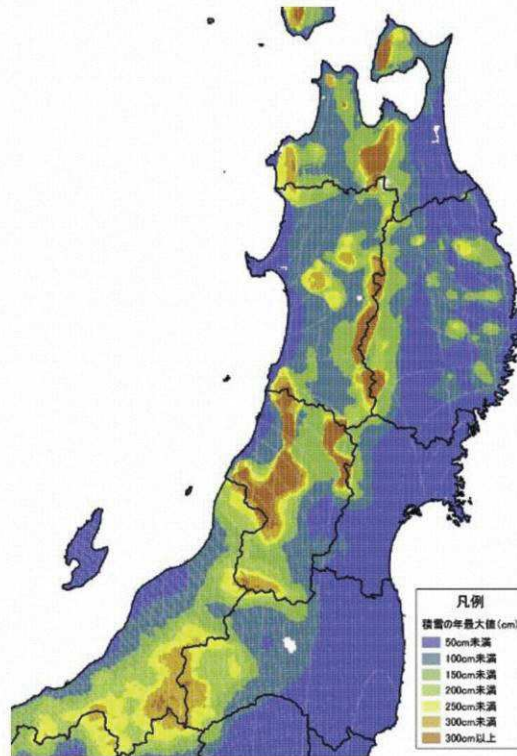


出典：気象庁

注) 豪雪地帯：豪雪地帯対策特別措置法第二条に基づき国土交通大臣、総務大臣及び農林水産大臣に指定された、積雪が特にはなはだしいため、産業の発展が停滞的で、かつ、住民の生活水準の向上が阻害されている地域

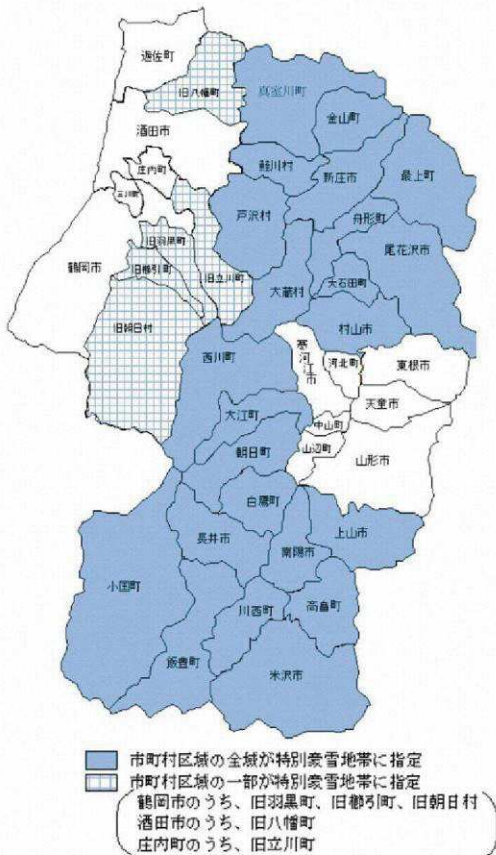
注) 特別豪雪地帯：豪雪地帯のうち、積雪の度が特に高く、かつ、積雪により長期間自動車の交通が途絶する等により住民の生活に著しい支障を生ずる地域

年最深積雪 メッシュ平年値図（統計期間：1981年～2010年）



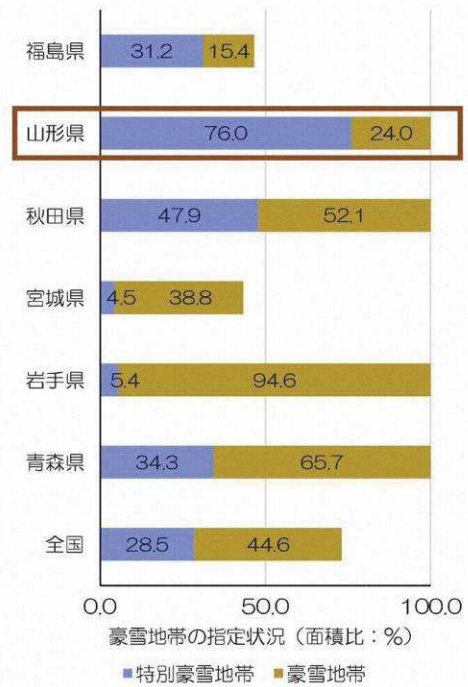
出典：国土数値情報平年値メッシュデータ

特別豪雪地帯の指定状況



出典：山形県雪対策基本計画

東北各地の豪雪地帯指定状況（面積）



出典：国土交通省国土政策局

2-1-3 産業・観光の現状

(1) 産業の概要

第2次、第3次産業の施設立地は、鉄道路線沿線に集中している。加えて、工業団地は、空港・港湾・高速道路IC付近にも多く見られ、高速交通ネットワークとの接続が産業施設立地に重要であることがわかる。

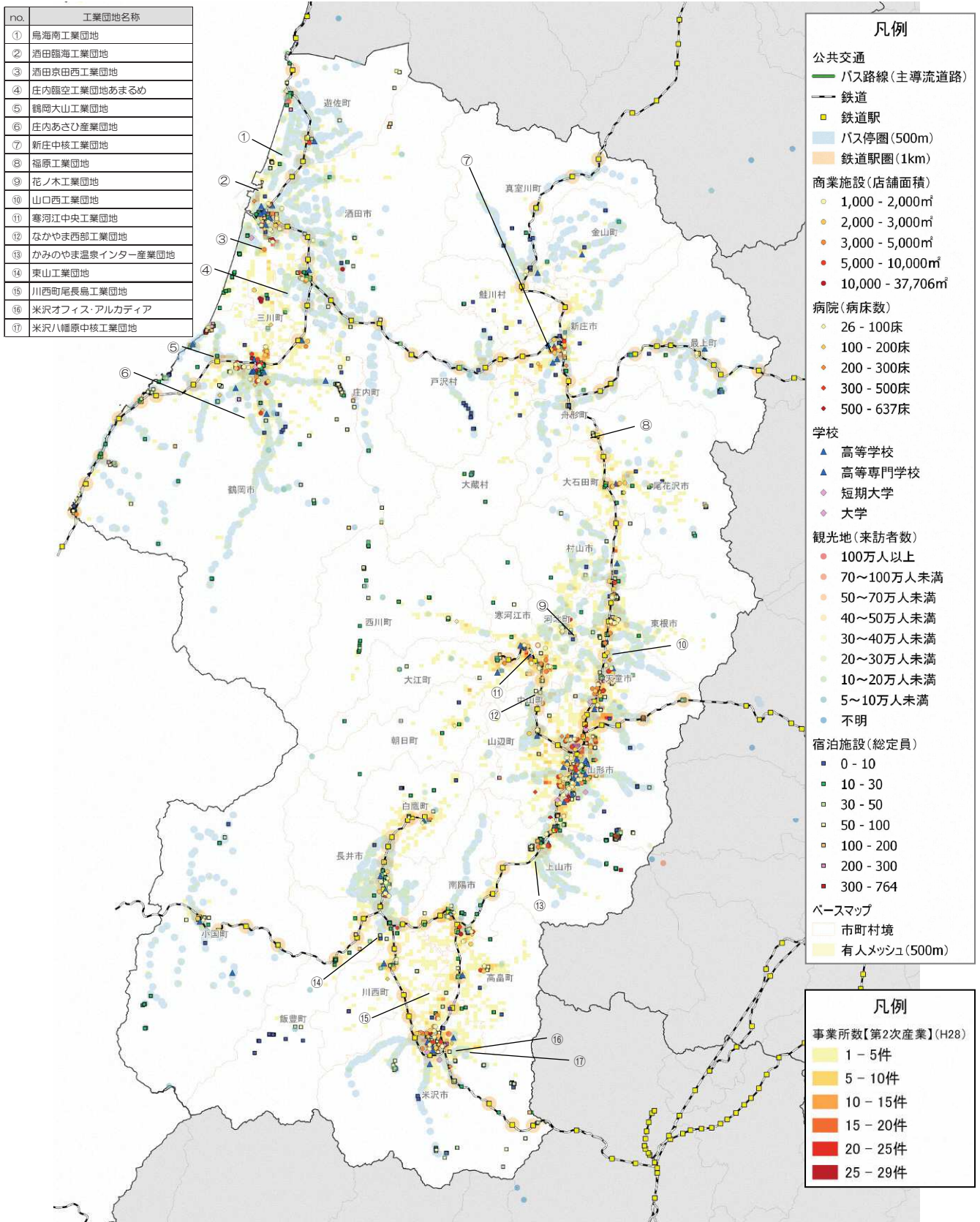


図 2-5 第2次産業の事業所数

資料：H28年経済センサス、国土数値情報、R1年度山形県観光者数調査、全国大型小売店舗総覧2020 ほか

no.	工業団地名
①	鳥海南工業団地
②	酒田臨海工業団地
③	酒田京田西工業団地
④	庄内臨空工業団地あまるめ
⑤	鶴岡大山工業団地
⑥	庄内あさひ産業団地
⑦	新庄中核工業団地
⑧	福原工業団地
⑨	花ノ木工業団地
⑩	山口西工業団地
⑪	寒河江中央工業団地
⑫	なかやま西部工業団地
⑬	かみのやま温泉インター産業団地
⑭	東山工業団地
⑮	川西町尾長島工業団地
⑯	米沢オフィス・アルカディア
⑰	米沢八幡原中核工業団地

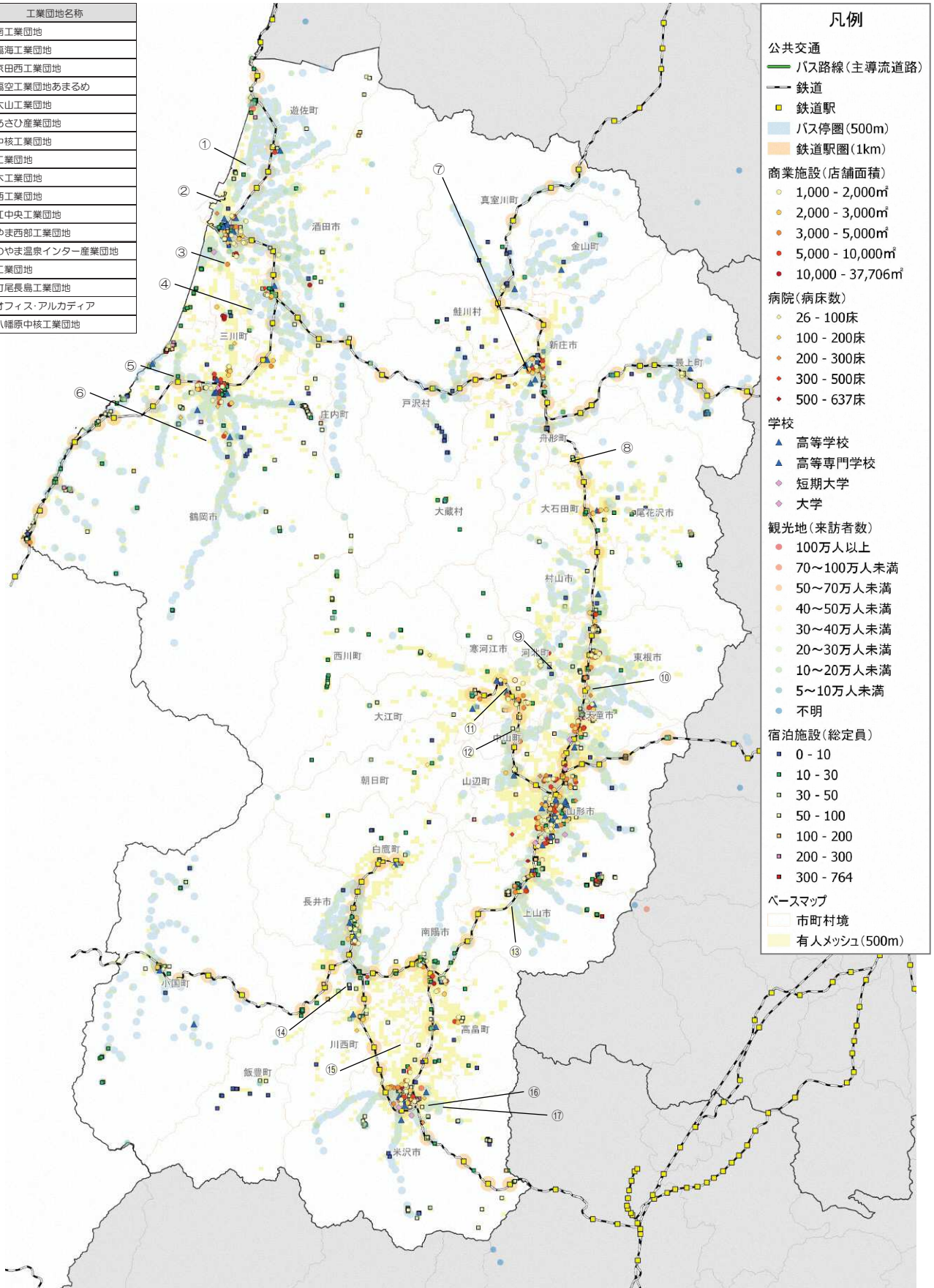


図 2-6 第3次産業の事業所数

資料：H28年経済センサス、国土数値情報、R1年度山形県観光者数調査、全国大型小売店舗総覧 2020 ほか

no.	工業団地名
①	鳥海南工業団地
②	酒田臨海工業団地
③	酒田京田西工業団地
④	庄内臨空工業団地あまるめ
⑤	鶴岡大山工業団地
⑥	庄内あさひ産業団地
⑦	新庄中核工業団地
⑧	福原工業団地
⑨	花ノ木工業団地
⑩	山ノ西工業団地
⑪	寒河江中央工業団地
⑫	なかやま西部工業団地
⑬	かみのやま温泉インター産業団地
⑭	東山工業団地
⑮	川西町尾長島工業団地
⑯	米沢オフィス・アルカディア
⑰	米沢八幡原中核工業団地

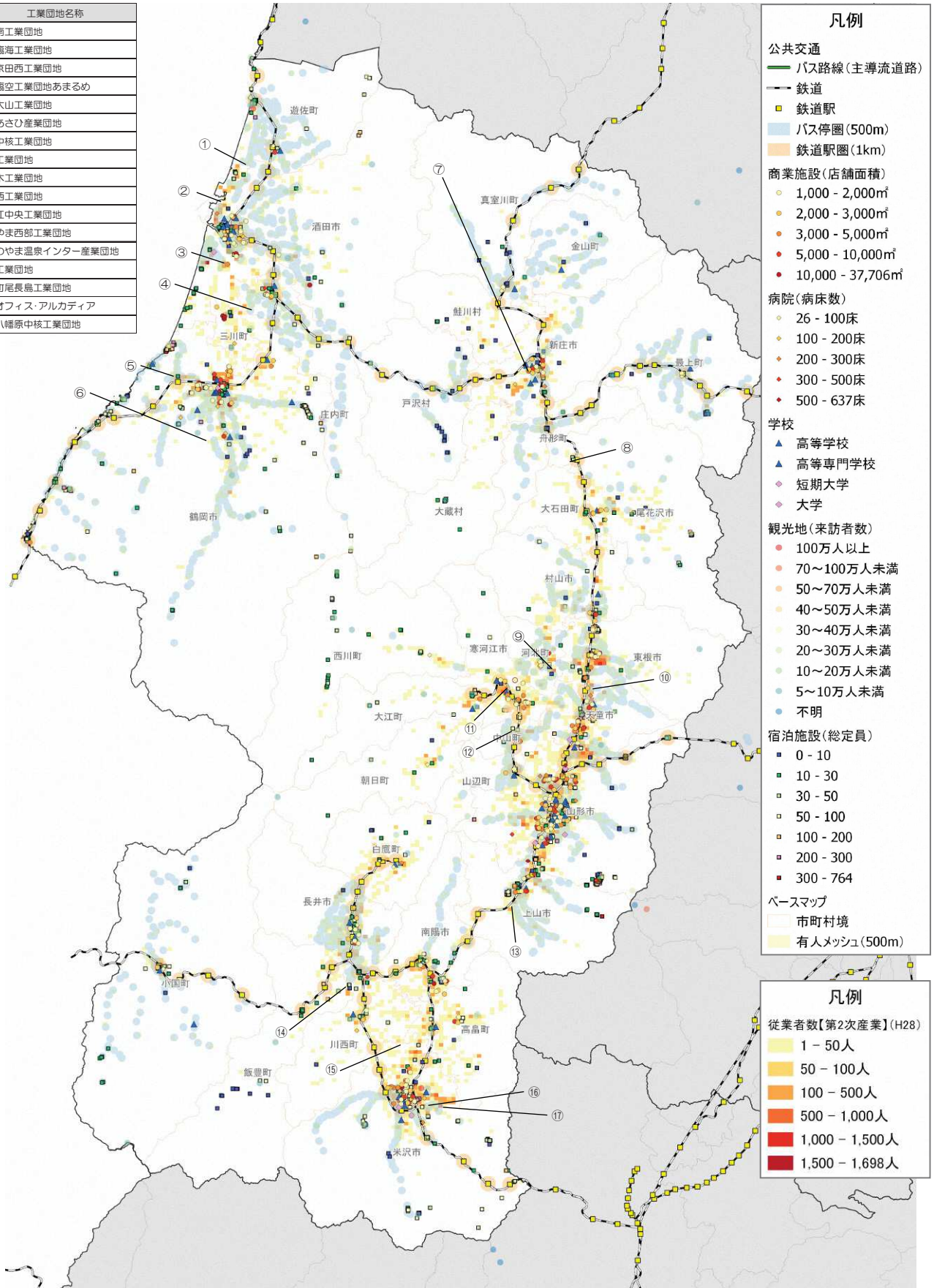


図 2-7 第2次産業の従業者数

資料：H28年経済センサス、国土数値情報、R1年度山形県観光者数調査、全国大型小売店舗総覧 2020 ほか

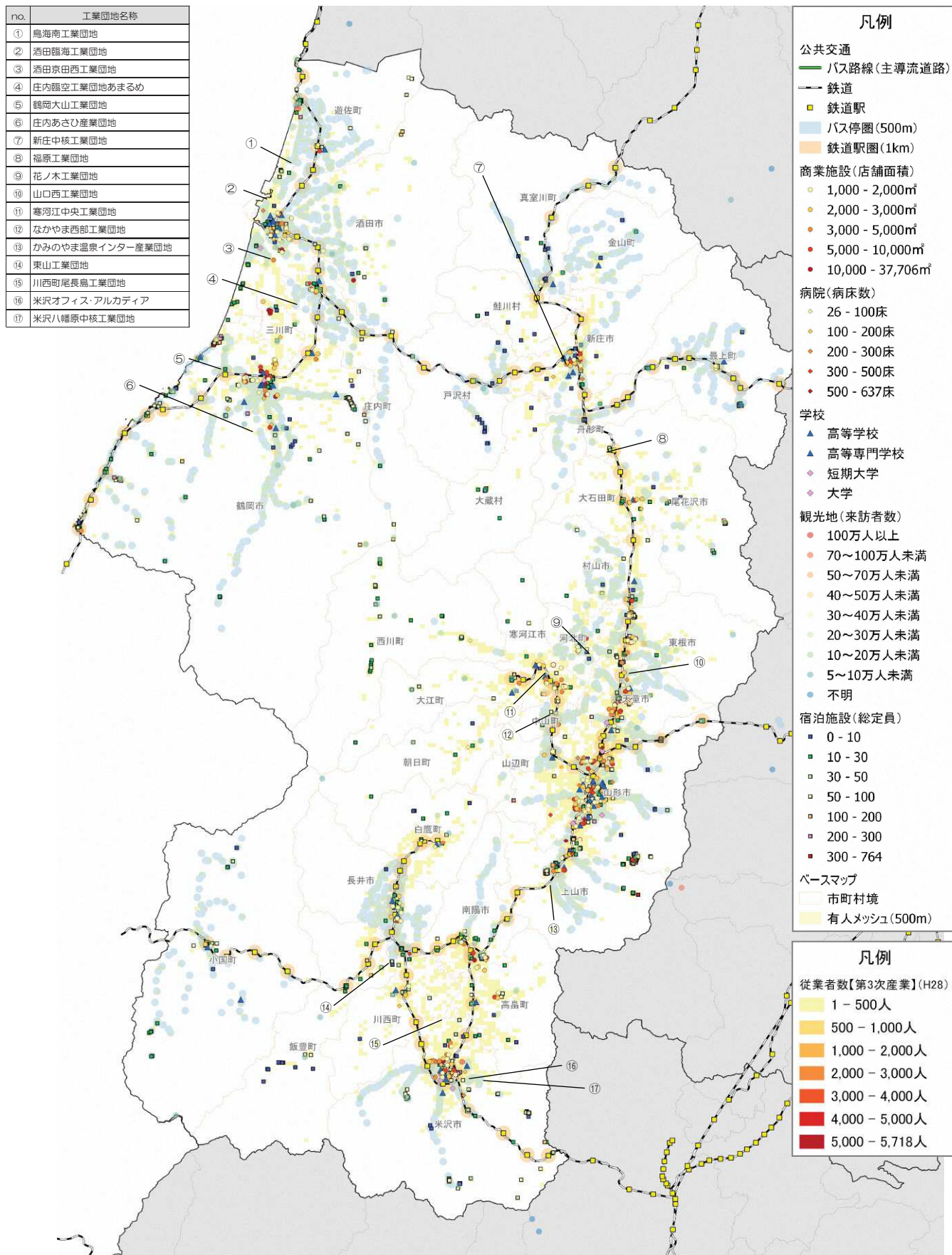


図 2-8 第3次産業の従業者数

資料：H28年経済センサス、国土数値情報、R1年度山形県観光者数調査、全国大型小売店舗総覧 2020 ほか

(2) 観光の概要

観光受入実績や施設立地については、村山地域が最も多く、庄内・置賜両地域がこれに続くが、最上地域が特に少なくなっている。

こうした地域間格差は、インバウンド受入実績になるとさらに顕著となる。

表 2-1 観光者数（延数）

（単位：千人）

地域	市町村	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
村山地域	山形市	5,122.0	5,897.9	5,690.9	5,559.3	5,099.8
	寒河江市	3,588.3	3,740.8	3,592.0	3,551.4	3,405.0
	上山市	1,806.7	1,812.3	1,806.6	1,711.8	1,683.7
	村山市	1,289.9	1,276.0	1,231.7	1,198.5	1,158.7
	天童市	2,557.8	2,514.1	2,586.8	2,585.2	2,605.6
	東根市	1,536.6	1,745.4	1,721.4	1,714.7	1,658.0
	尾花沢市	1,418.1	1,471.3	1,556.4	1,559.9	1,506.1
	山辺町	452.7	429.9	421.6	402.3	400.2
	中山町	300.8	295.0	284.7	275.6	250.9
	河北町	642.4	647.5	640.1	551.9	572.8
	西川町	622.6	697.2	642.7	768.1	635.4
	朝日町	294.9	651.4	645.1	661.2	632.8
	大江町	656.5	661.1	669.8	654.2	609.1
	大石田町	378.0	368.6	369.9	366.0	387.0
	村山地域計	20,667.3	22,208.5	21,859.7	21,560.1	20,605.1
最上地域	新庄市	741.5	804.5	801.9	664.6	662.4
	金山町	166.8	166.1	150.5	149.8	141.1
	最上町	728.2	708.8	673.2	700.8	665.9
	舟形町	267.1	251.5	243.4	310.4	312.4
	真室川町	98.6	88.7	81.9	81.0	82.4
	大蔵村	95.1	90.0	81.8	79.9	77.1
	鮭川村	73.1	72.3	72.3	85.1	85.0
	戸沢村	523.5	594.7	538.7	554.0	497.5
		最上地域計	2,693.9	2,776.6	2,643.7	2,625.6
置賜地域	米沢市	1,974.9	1,860.6	1,914.0	3,494.4	3,710.6
	長井市	465.6	496.1	980.0	932.3	1,061.1
	南陽市	1,182.7	1,101.3	1,104.0	1,111.3	1,083.6
	高畠町	1,288.6	1,262.2	1,262.8	1,207.4	1,061.9
	川西町	179.5	203.0	306.3	351.2	397.5
	小国町	350.9	347.8	366.6	385.6	415.3
	白鷹町	861.0	825.8	799.2	785.0	754.5
	飯豊町	585.5	578.6	593.8	723.3	702.0
		置賜地域計	6,888.7	6,675.4	7,326.7	8,990.5
庄内地域	鶴岡市	6,986.7	6,539.9	6,328.3	6,486.5	6,121.3
	酒田市	3,006.6	2,942.9	2,816.5	2,698.9	2,738.8
	三川町	339.4	352.2	349.5	335.1	340.5
	庄内町	424.3	468.9	547.4	552.9	576.0
	遊佐町	3,897.4	3,849.7	3,250.6	3,257.8	3,219.7
		庄内地域計	14,654.4	14,153.6	13,292.3	13,331.2
山形県計		44,904.3	45,814.1	45,122.4	46,507.4	45,311.7

資料：山形県観光者数調査

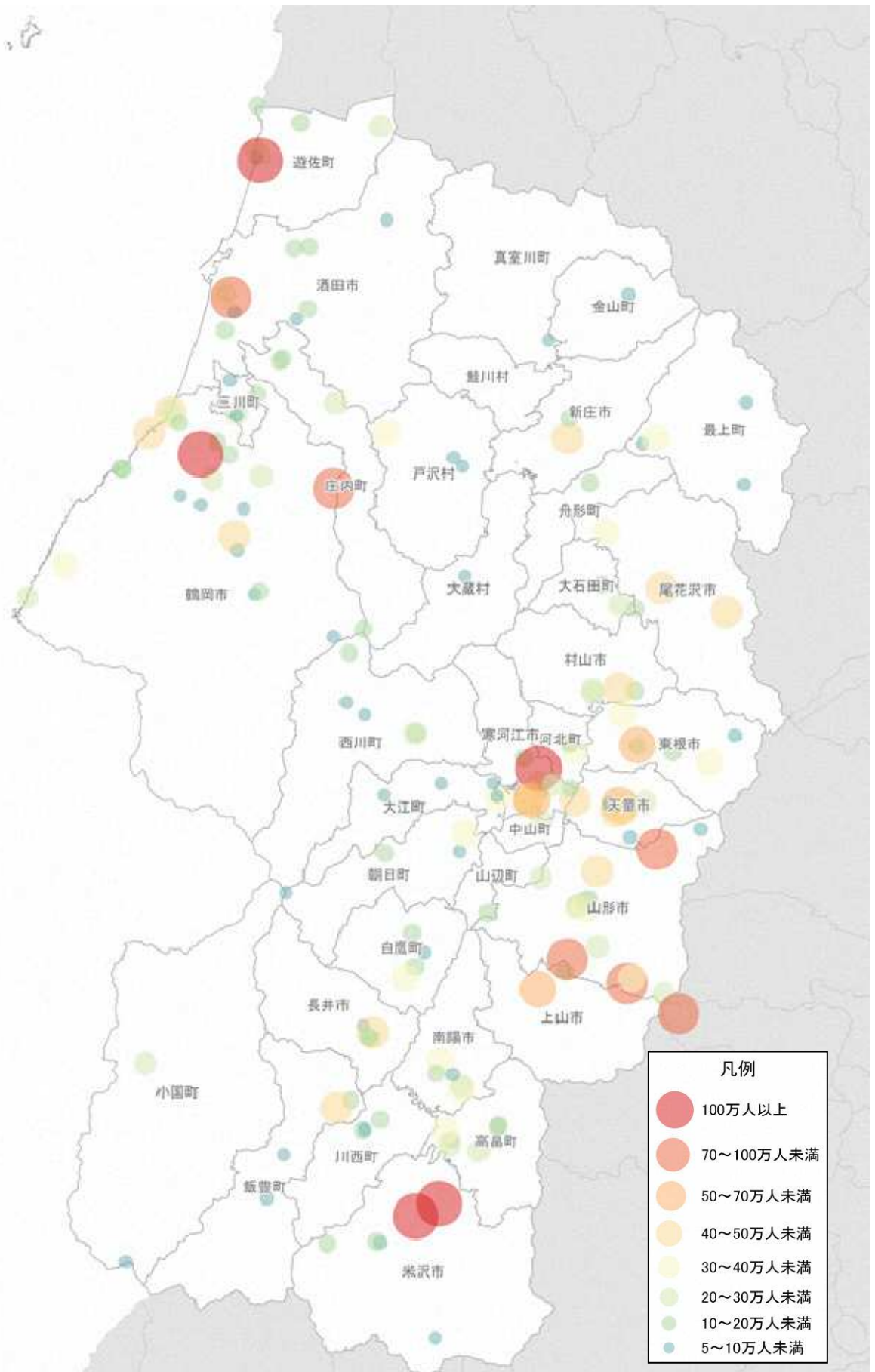


図 2-9 観光施設分布

資料：R1 年度山形県観光者数調査

表 2-2 観光施設一覧

来訪規模	類型	観光地名	市町村
100万人以上	名所・旧跡観光地	松岬公園	米沢市
	道の駅	道の駅 鳥海 ふらっと	遊佐町
	道の駅	道の駅 米沢	米沢市
	道の駅	道の駅 寒河江 (チェリーランド)	寒河江市
	その他の観光地	庄内観光物産館	鶴岡市
70~100万人未満	温泉観光地	蔵王温泉	山形市
	名所・旧跡観光地	山寺	山形市
	名所・旧跡観光地	羽黒山	鶴岡市
	観光道路等	蔵王エコーライン	上山市
	その他の観光地	山形県観光物産会館	山形市
	その他の観光地	酒田夢の倶楽	酒田市
50~70万人未満	温泉観光地	天童温泉	天童市
	温泉観光地	かみのやま温泉	上山市
	その他の観光地	最上川ふるさと総合公園	寒河江市
	その他の観光地	よってけポボラ	東根市
40~50万人未満	温泉観光地	天童最上川温泉ゆびあ	天童市
	温泉観光地	銀山温泉	尾花沢市
	温泉観光地	湯野浜温泉	鶴岡市
	名所・旧跡観光地	最上公園	新庄市
	名所・旧跡観光地	徳良湖	尾花沢市
	名所・旧跡観光地	天童公園	天童市
	道の駅	道の駅川のみなと長井	長井市
	道の駅	道の駅 天童温泉 (わくわくランド)	天童市
	道の駅	道の駅 むらやま	村山市
	道の駅	道の駅 いいで めざみの里 (めざみの里観光物産館)	飯豊町
	その他の観光地	加茂水族館	鶴岡市
	その他の観光地	産直めぐり	鶴岡市
	その他の観光地	山形国際交流プラザ (山形ビッグウイング)	山形市
	その他の観光地	アグリランド産直センター	寒河江市
30~40万人未満	温泉観光地	テルメ柏陵	大江町
	温泉観光地	寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー	寒河江市
	温泉観光地	赤湯温泉	南陽市
	温泉観光地	さくらんぼ東根温泉	東根市
	温泉観光地	温海温泉	鶴岡市
	温泉観光地	べに花温泉ひなの湯	河北町
	スキー場	蔵王スキー場	山形市
	名所・旧跡観光地	大滝峡公園 (関山大滝)	東根市
	名所・旧跡観光地	熊野大社と双松公園	南陽市
	道の駅	道の駅 あさひまち りんごの森	朝日町
	道の駅	道の駅 尾花沢 花笠の里 ねまる	尾花沢市
	その他の観光地	山形まるごと館紅の蔵	山形市
	その他の観光地	よねおりかんこうセンター	高畠町
	その他の観光地	白糸の滝ドライブイン	戸沢村
	その他の観光地	さかた海鮮市場	酒田市
	その他の観光地	どりいむ農園直売所	白鷹町
その他の観光地	川の駅ヤナ茶屋もがみ	最上町	
20~30万人未満	山岳観光地	鳥海山	遊佐町
	山岳観光地	蔵王連峰	山形市
	温泉観光地	碁点温泉	村山市
	温泉観光地	山辺温泉	山辺町
	温泉観光地	ひまわり温泉「ゆ・ら・ら」	中山町
	温泉観光地	やまぶし温泉ゆぼか	鶴岡市
	温泉観光地	鳥海温泉	遊佐町
	温泉観光地	なの花温泉	三川町
	海水浴場	湯野浜海水浴場	鶴岡市
	名所・旧跡観光地	亀岡文殊	高畠町
	名所・旧跡観光地	烏帽子山公園と八幡神社	南陽市
	名所・旧跡観光地	寒河江公園 (長岡山)	寒河江市

来訪規模	類型	観光地名	市町村
20~30 万人未満	名所・旧跡観光地	若松観音	天童市
	名所・旧跡観光地	十六羅漢岩	遊佐町
	観光道路等	蔵王ライン	山形市
	道の駅	道の駅 あつみ しゃりん	鶴岡市
	道の駅	道の駅 にしかわ（月山銘水館）	西川町
	道の駅	道の駅 白い森おぐに（ぶな茶屋）	小国町
	道の駅	道の駅 しょうない風車市場	庄内町
	その他の観光地	最上川三難所そば街道	村山市
	その他の観光地	山形テルサ	山形市
	その他の観光地	山形県産業科学館	山形市
	その他の観光地	西蔵王公園	山形市
	その他の観光地	庄内おばこの里「こまぎ」	鶴岡市
	その他の観光地	高畠ワイナリー	高畠町
	その他の観光地	大石田そば街道	大石田町
	その他の観光地	J A アグリ寒河江産直の会	寒河江市
10~20 万人未満	山岳観光地	月山	鶴岡市
	温泉観光地	ぼっぼの湯	鶴岡市
	温泉観光地	八森温泉ゆりんこ	酒田市
	温泉観光地	若あゆ温泉	舟形町
	温泉観光地	大石田温泉	大石田町
	温泉観光地	川西温泉	川西町
	温泉観光地	添川温泉しらさぎ荘	飯豊町
	温泉観光地	アイアイひらた	酒田市
	温泉観光地	由良温泉	鶴岡市
	温泉観光地	寒河江温泉	寒河江市
	温泉観光地	水沢温泉	西川町
	温泉観光地	太陽館（温泉）	高畠町
	温泉観光地	ギャラリー温泉「町湯」	庄内町
	スキー場	月山スキー場	西川町
	海水浴場	由良海水浴場	鶴岡市
	名所・旧跡観光地	東沢公園（バラ園）	村山市
	名所・旧跡観光地	善宝寺	鶴岡市
	名所・旧跡観光地	三崎公園	遊佐町
	名所・旧跡観光地	慈恩寺	寒河江市
	名所・旧跡観光地	小野川大黒天（甲子大黒天本山）	米沢市
	名所・旧跡観光地	白つつじ公園	長井市
	名所・旧跡観光地	谷地八幡宮	河北町
	観光道路等	鳥海ブルーライン	遊佐町
	道の駅	道の駅 白鷹ヤナ公園 あゆ茶屋	白鷹町
	道の駅	道の駅 田沢 なごみの郷	米沢市
	道の駅	道の駅 たかはた	高畠町
	その他の観光地	観光果樹園（東根市）	東根市
	その他の観光地	みなと市場	酒田市
	その他の観光地	新産業創造館「クラッセ」	庄内町
	その他の観光地	おくのほそ道尾花沢そば街道	尾花沢市
	その他の観光地	さくらんぼ観光果樹園（寒河江市）	寒河江市
	その他の観光地	ひがしねあそびあランド	東根市
	その他の観光地	米の粉の滝ドライブイン	鶴岡市
	その他の観光地	産直たわわ	酒田市
	その他の観光地	文翔館	山形市
	その他の観光地	かわにし森のマルシェ	川西町
	その他の観光地	つるおか食文化市場 FOODEVER	鶴岡市
	その他の観光地	七日町御殿堰	山形市
	その他の観光地	リナワールド	上山市
	その他の観光地	百万石の里しゃきと	鶴岡市
	その他の観光地	安久津八幡神社	高畠町
	その他の観光地	市民直売所菜なポート	長井市
	その他の観光地	山形まなび館	山形市
その他の観光地	産直まゆの郷	新庄市	

来訪規模	類型	観光地名	市町村
10~20 万人未満	その他の観光地	県民の森	山辺町
	その他の観光地	Asahi 自然観	朝日町
	その他の観光地	食彩工房いちご畑	酒田市
	その他の観光地	J Aしらたか愛菜館	白鷹町
	その他の観光地	J A山形おきたま 南陽愛菜館	南陽市
5~10 万人未満	山岳観光地	朝日連峰	朝日町
	山岳観光地	飯豊連峰	小国町
	温泉観光地	くしびき温泉ゆーTOWN	鶴岡市
	温泉観光地	瀬見温泉	最上町
	温泉観光地	肘折温泉	大蔵村
	温泉観光地	りんご温泉	朝日町
	温泉観光地	小野川温泉	米沢市
	温泉観光地	まむろ川温泉	真室川町
	温泉観光地	柳川温泉	大江町
	温泉観光地	かたくり温泉	鶴岡市
	温泉観光地	「おくのほそみち」赤倉ゆけむり館	最上町
	温泉観光地	湯田川温泉	鶴岡市
	温泉観光地	神室温泉（ホットハウスカムロ）	金山町
	スキー場	黒伏高原スノーパーク ジャングル・ジャングル	東根市
	海水浴場	西浜海水浴場	遊佐町
	名所・旧跡観光地	玉簾の滝	酒田市
	名所・旧跡観光地	最上川舟下り	戸沢村
	名所・旧跡観光地	湯殿山神社	鶴岡市
	名所・旧跡観光地	あやめ公園	長井市
	名所・旧跡観光地	白川ダム	飯豊町
	名所・旧跡観光地	水郷左沢	大江町
	名所・旧跡観光地	金峯山	鶴岡市
	名所・旧跡観光地	置賜公園（ダリヤ園・ハーブガーデン）	川西町
	道の駅	道の駅 おおえ	大江町
	道の駅	道の駅 庄内みかわ いろり火の里（物産館マイデル）	三川町
	道の駅	道の駅 とざわ モモカミの里「高麗館」	戸沢村
	道の駅	道の駅 月山 月山あさひ博物館	鶴岡市
	その他の観光地	観光果樹園（天童市）	天童市
	その他の観光地	源流の森センター	飯豊町
	その他の観光地	めんたま畑	酒田市
	その他の観光地	山形美術館	山形市
	その他の観光地	前森高原	最上町
	その他の観光地	白鷹町ふるさと森林公園（パレス松風）	白鷹町
	その他の観光地	月山湖水の文化館	西川町
	その他の観光地	将棋駒関連施設（天童市将棋資料館）	天童市
	その他の観光地	観光果樹園（南陽市）	南陽市
	その他の観光地	オランダせんべい FACTORY	酒田市
	その他の観光地	面白山（面白山紅葉川溪谷）	山形市
	その他の観光地	天元台（リゾート）	米沢市
	その他の観光地	弓張平運動公園	西川町
その他の観光地	小倉交流館	大江町	
その他の観光地	産直みかわ	三川町	

資料：R1 年度山形県観光者数調査

表 2-3 R1 年外国人旅行者県内受入実績

1. 国別内訳

(単位：人)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	その他
宿泊者数	184,760	90,270	8,930	15,800	19,380	6,030	3,080	11,630	4,460	2,190	21,230
立寄者数	204,168	136,201	2,894	6,144	2,206	6,487	4,386	7,547	2,038	1,122	35,143
合計(延受入数)	388,928	226,471	11,824	21,944	21,586	12,517	7,466	19,177	6,498	3,312	56,373

(参考)

H30年延受入数	252,289	136,565	13,494	12,108	16,422	9,518	6,227	9,858	5,299	1,840	38,688
対前年比(R1/H30)	154.2%	165.8%	87.6%	181.2%	131.4%	131.5%	119.9%	194.5%	122.6%	180.0%	145.7%

※ 宿泊者数の合計には国籍不明者が含まれるため、国・地域別の宿泊者数を足し上げた数値と一致しない。

2. 受入地域別内訳(宿泊者数と立寄者数の計)

(単位：人)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	その他
村山	236,174	159,875	5,197	14,281	13,239	3,787	2,508	15,197	4,638	2,859	14,593
最上	19,964	14,804	530	1,612	321	140	88	590	120	175	1,584
置賜	30,692	19,628	974	954	1,645	925	99	343	702	100	5,322
庄内	65,691	14,837	3,123	2,169	2,793	6,451	4,156	1,532	827	292	29,511

※ 1. 国別内訳の宿泊者数は調査票未回収分について推計しているが、2. 地域別内訳の宿泊者数は調査票回収分の足し上げであるため、各数値は一致しない。

資料：R1 年外国人旅行者県内受入実績調査(山形県イン・アウトバウンド推進課)

調査対象期間：平成 31 年 1 月～令和元年 12 月

調査対象施設：県内宿泊施設(従業者数 10 人以上)(出典：観光庁宿泊旅行統計(確定値))

立寄 27 観光地(山形県イン・アウトバウンド推進課調べ)

2-2 自動車保有台数、免許保有者数・返納者数の状況

一人当たり、世帯当たりともに自動車保有台数・免許保有者数は、全国平均・東北平均を上回り、車社会の傾向が顕著に見られる。

一人当たり、世帯当たりの免許返納者数は全国平均・東北平均を上回っているが、これは免許保有者数自体が多いためと考えられる。（R1年12月末における免許保有者数に対するH30年・R1年の免許返納者数の割合は、全国平均 1.24%、東北平均 1.08%に対し、山形県 1.33%となり、ほぼ差が無い。）

地域別に見た場合、最上地域は、免許保有者数が特に高く、返納割合が低いといった状況にある。

表 2-4 自動車保有台数 (R1 年度)

自治体名	自動車保有台数 (単位：台)	人口		世帯		
		人口 (単位：人)	一人当たり 保有数 (単位：台)	世帯数 (単位：世帯)	一世帯当たり 保有数 (単位：台)	
村山地域	山形市	190,960	248,935	0.77	103,179	1.85
	寒河江市	35,736	40,131	0.89	13,635	2.62
	上山市	24,549	29,669	0.83	10,704	2.29
	村山市	21,696	22,760	0.95	7,596	2.86
	天童市	54,235	62,050	0.87	22,688	2.39
	東根市	38,578	47,919	0.81	16,496	2.34
	尾花沢市	15,024	15,237	0.99	4,959	3.03
	山辺町	10,968	13,809	0.79	4,530	2.42
	中山町	9,671	10,774	0.90	3,519	2.75
	河北町	15,750	17,868	0.88	5,977	2.64
	西川町	4,798	5,008	0.96	1,713	2.80
	朝日町	6,080	6,402	0.95	2,131	2.85
	大江町	6,970	7,733	0.90	2,600	2.68
	大石田町	6,246	6,671	0.94	2,127	2.94
	小計	441,261	534,966	0.82	201,854	2.19
最上地域	新庄市	29,748	34,937	0.85	13,215	2.25
	金山町	4,709	5,205	0.90	1,607	2.93
	最上町	7,396	8,059	0.92	2,594	2.85
	舟形町	4,665	5,101	0.91	1,589	2.94
	真室川町	6,630	7,285	0.91	2,325	2.85
	大蔵村	3,044	3,044	1.00	970	3.14
	鮭川村	4,029	3,911	1.03	1,203	3.35
	戸沢村	4,027	4,243	0.95	1,344	3.00
	小計	64,248	71,785	0.90	24,847	2.59
置賜地域	米沢市	64,483	81,776	0.79	33,281	1.94
	長井市	23,616	26,238	0.90	9,300	2.54
	南陽市	26,129	30,839	0.85	10,919	2.39
	高畠町	20,349	22,637	0.90	7,370	2.76
	川西町	13,708	14,568	0.94	4,444	3.08
	小国町	6,263	7,108	0.88	2,745	2.28
	白鷹町	12,299	12,989	0.95	4,403	2.79
	飯豊町	6,671	6,698	1.00	2,156	3.09
	小計	173,518	202,853	0.86	74,618	2.33
庄内地域	鶴岡市	102,125	123,193	0.83	45,767	2.23
	酒田市	87,408	100,617	0.87	39,519	2.21
	三川町	6,874	7,562	0.91	2,312	2.97
	庄内町	18,499	20,361	0.91	6,725	2.75
	遊佐町	12,356	13,186	0.94	4,471	2.76
	小計	227,262	264,919	0.86	98,794	2.30
山形県計	906,289	1,074,523	0.84	400,113	2.27	
東北	6,886,209	8,678,216	0.79	3,670,053	1.88	
全国	77,991,114	127,138,033	0.61	59,071,519	1.32	

資料：市区町村別自動車保有車両数（監修・国土交通省自動車局）

表 2-5 免許保有者数 (R1 年 12 月末)

自治体名	免許保有者数 (単位：人)	人口		世帯		
		人口 (単位：人)	一人当たり 保有数	世帯数 (単位：世帯)	一世帯当たり 保有数	
村山地域	山形市	170,387	248,935	0.68	103,179	1.65
	寒河江市	29,031	40,131	0.72	13,635	2.13
	上山市	20,875	29,669	0.70	10,704	1.95
	村山市	16,954	22,760	0.74	7,596	2.23
	天童市	44,197	62,050	0.71	22,688	1.95
	東根市	33,799	47,919	0.71	16,496	2.05
	尾花沢市	10,966	15,237	0.72	4,959	2.21
	山辺町	10,104	13,809	0.73	4,530	2.23
	中山町	8,141	10,774	0.76	3,519	2.31
	河北町	13,076	17,868	0.73	5,977	2.19
	西川町	3,645	5,008	0.73	1,713	2.13
	朝日町	4,651	6,402	0.73	2,131	2.18
	大江町	5,617	7,733	0.73	2,600	2.16
	大石田町	4,868	6,671	0.73	2,127	2.29
小計	376,311	534,966	0.70	201,854	1.86	
最上地域	新庄市	24,133	34,937	0.69	13,215	1.83
	金山町	3,748	5,205	0.72	1,607	2.33
	最上町	5,696	8,059	0.71	2,594	2.20
	舟形町	3,493	5,101	0.68	1,589	2.20
	真室川町	5,138	7,285	0.71	2,325	2.21
	大蔵村	2,168	3,044	0.71	970	2.24
	鮭川村	2,931	3,911	0.75	1,203	2.44
	戸沢村	2,975	4,243	0.70	1,344	2.21
小計	50,282	71,785	0.70	24,847	2.02	
置賜地域	米沢市	55,011	81,776	0.67	33,281	1.65
	長井市	18,508	26,238	0.71	9,300	1.99
	南陽市	21,855	30,839	0.71	10,919	2.00
	高畠町	16,496	22,637	0.73	7,370	2.24
	川西町	10,474	14,568	0.72	4,444	2.36
	小国町	4,991	7,108	0.70	2,745	1.82
	白鷹町	9,732	12,989	0.75	4,403	2.21
	飯豊町	4,924	6,698	0.74	2,156	2.28
	小計	141,991	202,853	0.70	74,618	1.90
庄内地域	鶴岡市	86,977	123,193	0.71	45,767	1.90
	酒田市	71,658	100,617	0.71	39,519	1.81
	三川町	5,251	7,562	0.69	2,312	2.27
	庄内町	15,015	20,361	0.74	6,725	2.23
	遊佐町	9,729	13,186	0.74	4,471	2.18
小計	188,630	264,919	0.71	98,794	1.91	
山形県計	757,214	1,074,523	0.70	400,113	1.89	
東北	5,918,013	8,678,216	0.68	3,670,053	1.61	
全国	82,158,428	127,138,033	0.65	59,071,519	1.39	

資料：山形県の運転免許保有状況 (R1 年末)、運転免許統計 (R1 年版)

表 2-6 免許返納者数 (H30、R1 年計)

自治体名	免許返納者数 (単位：人)	人口		世帯		免許返納者 数/免許保 有者数	
		人口 (単位：人)	一人当たり 返納割合	世帯数 (単位：世帯)	世帯当たり 返納割合		
村山地域	山形市	1,976	248,935	0.8%	103,179	1.9%	1.16%
	寒河江市	458	40,131	1.1%	13,635	3.4%	1.58%
	上山市	293	29,669	1.0%	10,704	2.7%	1.40%
	村山市	324	22,760	1.4%	7,596	4.3%	1.91%
	天童市	576	62,050	0.9%	22,688	2.5%	1.30%
	東根市	405	47,919	0.8%	16,496	2.5%	1.20%
	尾花沢市	201	15,237	1.3%	4,959	4.1%	1.83%
	山辺町	108	13,809	0.8%	4,530	2.4%	1.07%
	中山町	104	10,774	1.0%	3,519	3.0%	1.28%
	河北町	148	17,868	0.8%	5,977	2.5%	1.13%
	西川町	51	5,008	1.0%	1,713	3.0%	1.40%
	朝日町	37	6,402	0.6%	2,131	1.7%	0.80%
	大江町	105	7,733	1.4%	2,600	4.0%	1.87%
	大石田町	91	6,671	1.4%	2,127	4.3%	1.87%
小計	4,877	534,966	0.9%	201,854	2.4%	1.30%	
最上地域	新庄市	219	34,937	0.6%	13,215	1.7%	0.91%
	金山町	17	5,205	0.3%	1,607	1.1%	0.45%
	最上町	60	8,059	0.7%	2,594	2.3%	1.05%
	舟形町	32	5,101	0.6%	1,589	2.0%	0.92%
	真室川町	62	7,285	0.9%	2,325	2.7%	1.21%
	大蔵村	30	3,044	1.0%	970	3.1%	1.38%
	鮭川村	26	3,911	0.7%	1,203	2.2%	0.89%
	戸沢村	24	4,243	0.6%	1,344	1.8%	0.81%
	小計	470	71,785	0.7%	24,847	1.9%	0.93%
置賜地域	米沢市	678	81,776	0.8%	33,281	2.0%	1.23%
	長井市	280	26,238	1.1%	9,300	3.0%	1.51%
	南陽市	314	30,839	1.0%	10,919	2.9%	1.44%
	高畠町	142	22,637	0.6%	7,370	1.9%	0.86%
	川西町	179	14,568	1.2%	4,444	4.0%	1.71%
	小国町	79	7,108	1.1%	2,745	2.9%	1.58%
	白鷹町	155	12,989	1.2%	4,403	3.5%	1.59%
	飯豊町	90	6,698	1.3%	2,156	4.2%	1.83%
	小計	1,917	202,853	0.9%	74,618	2.6%	1.35%
庄内地域	鶴岡市	1,206	123,193	1.0%	45,767	2.6%	1.39%
	酒田市	1,093	100,617	1.1%	39,519	2.8%	1.53%
	三川町	56	7,562	0.7%	2,312	2.4%	1.07%
	庄内町	292	20,361	1.4%	6,725	4.3%	1.94%
	遊佐町	165	13,186	1.3%	4,471	3.7%	1.70%
小計	2,812	264,919	1.1%	98,794	2.8%	1.49%	
山形県計	10,076	1,074,523	0.9%	400,113	2.5%	1.33%	
東北	64,098	8,678,216	0.7%	3,670,053	1.7%	1.08%	
全国	1,022,212	127,138,033	0.8%	59,071,519	1.7%	1.24%	

資料：山形県、運転免許統計 (R1 年版)

2-3 移動の実態・特性

2-3-1 県際移動

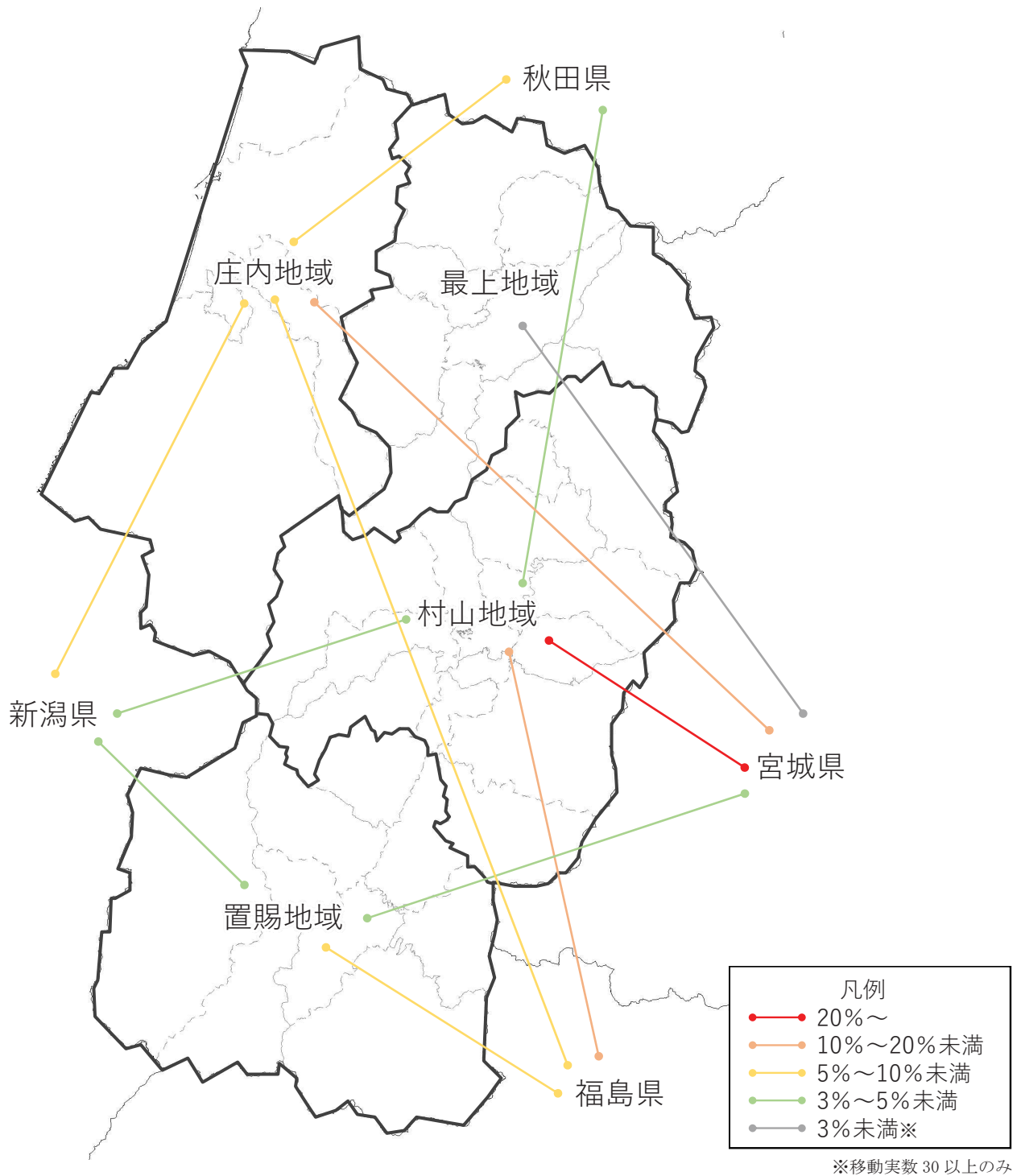


図 2-10 ETC 流動図 (R1 年 10 月平日(1 日あたり)往復合計 30 以上・割合)

資料：国土交通省東北地方整備局、北陸地方整備局

注) 県際移動をする自動車交通の ETC2.0 対応台数 (1,731 台/日) に占める各移動パターン (例：村山地域⇄宮城県) の割合を指す

表 2-7 主要移動軸別の移動概況（地域・県外別）

主要移動軸（移動経路）	移動概況								対応する公共交通（R1）	
	通勤（H27）		通学（H27）		買い物（H30）		観光（R1）		路線・系統	輸送人員 （高速バス・ 路線バス）
	人	%	人	%	人	%	人	%		
I 村山地域⇄宮城県	4,152	64.0%	2,445	78.1%		71.2%		51.6%	JR仙山線、高速バス6系統、路線バス1系統	1,859,698
村山地域⇄福島県	621	9.6%	180	5.7%		0.0%		11.2%	JR山形線、JR山形新幹線	-
最上地域⇄宮城県	509	7.8%	64	2.0%		6.5%		1.8%	路線バス1系統	147,527
置賜地域⇄宮城県	396	6.1%	266	8.5%		8.9%		11.8%	高速バス1系統	34,196
置賜地域⇄福島県	809	12.5%	176	5.6%		13.4%		23.7%	JR山形新幹線、JR山形線、スクールバス	-
計	6,487	100.0%	3,131	100.0%		100.0%		100.0%	-	2,041,421

注) 主要移動軸の定義付け：県民の日常生活流動（通勤・通学・買い物）が顕著なものに加え、公共交通等で結びついている地域ペアまたは市町村ペアを加えたものである。

注) 問題提起がない特定の主要移動軸は未掲載。

注) 「通勤」の「人」は国勢調査における「就業者数」を指す。具体的には、例えば表中の「村山地域⇄宮城県」の「通勤」4,152人は“村山地域内市町村の就業者が宮城県内市町村に従業している人数”と“宮城県内市町村の就業者が村山地域内市町村に従業している人数”の合計値となる。

注) 「通学」の「人」は国勢調査における「就学者数」を指す。具体的には、例えば表中の「村山地域⇄宮城県」の「通学」2,445人は“村山地域内市町村の就学者が宮城県内市町村に通学している人数”と“宮城県内市町村の就学者が村山地域内市町村に通学している人数”の合計値となる。

注) 「買い物」と「観光」は、サンプリング調査のため、割合のみ標記した

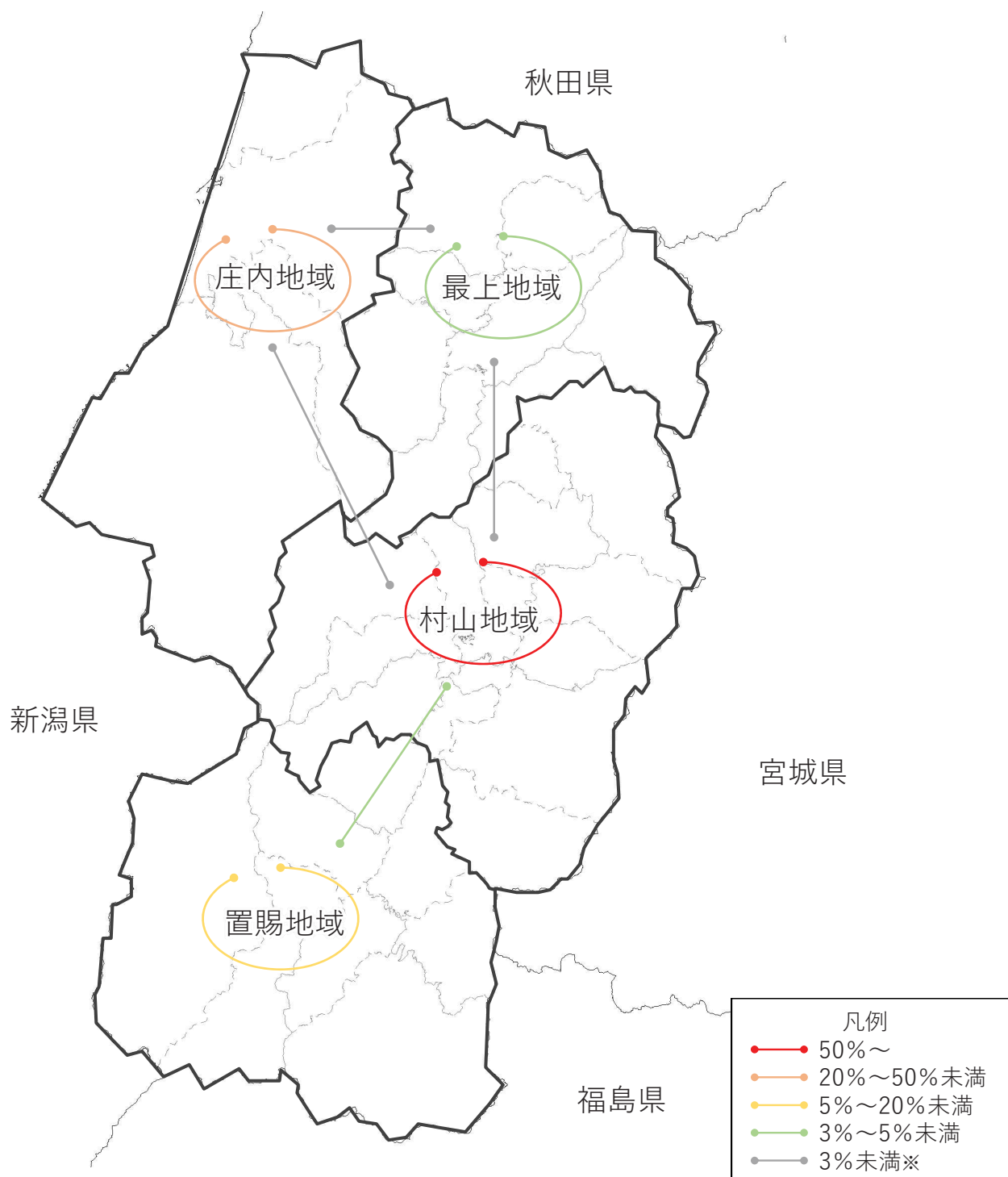
注) 「輸送人員（高速バス・路線バス）」は年間輸送実績（4月1日から3月31日まで）となる。

注) 各項目における「%」は表下の計に占める割合（シェア）を指す。

資料：H27 国勢調査、H30 年度山形県買物動向調査、R1 年度山形県観光地点パラメーター調査、路線バス事業者提供

表 2-8 主要移動軸別問題点（地域・県外別）

主要移動軸（移動経路）		利用者視点	事業者視点（バス）
I	村山地域⇄宮城県	-	・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
	最上地域⇄宮城県	-	・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
	置賜地域⇄宮城県	-	・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在



※移動実数 30 以上のみ

図 2-11 ETC 流動図 (R1 年 10 月平日(1 日あたり)往復合計 30 以上・地域間移動・割合)

注) 県内地域間移動をする自動車交通の総数 (10,706 台/日) に占める各移動パターン (例: 村山地域⇔置賜地域) の割合を指す

資料: 国土交通省東北地方整備局

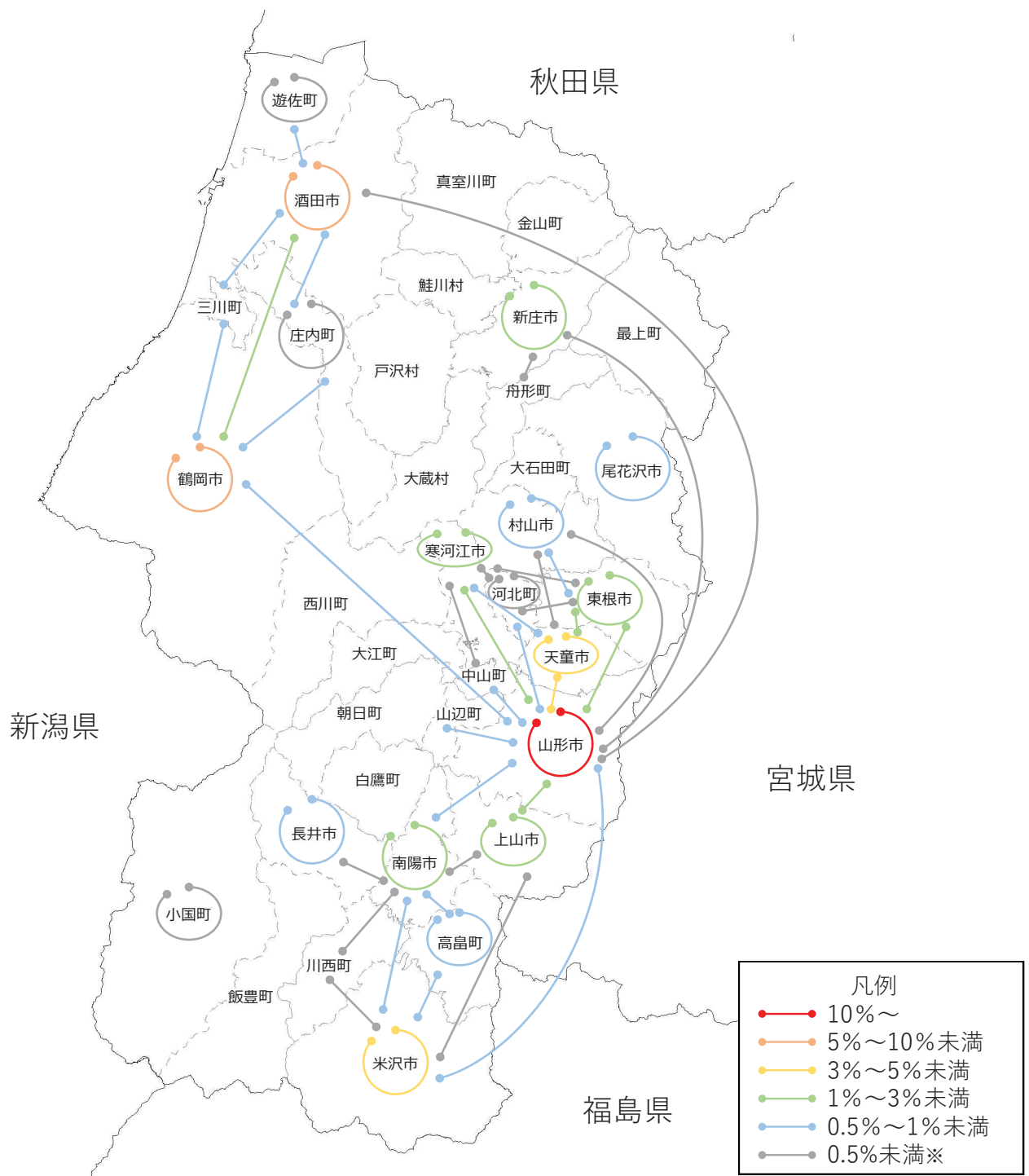


図 2-12 ETC 流動図 (R1 年 10 月平日(1 日あたり)往復合計 30 以上・市町村間移動・割合)

注) 市町村間移動をする自動車交通の総数 (10,706 台/日) に占める各移動パターン (例: 山形市⇄天童市) の割合を指す

資料: 国土交通省東北地方整備局

表 2-9 主要移動軸別の移動概況（地域別）

主要移動軸（移動経路）	移動概況								対応する公共交通（R1）	
	通勤（H27）		通学（H27）		買い物（H30）		観光（R1）		路線・系統	輸送人員 （高速バス・ 路線バス）
	人	%	人	%	人	%	人	%		
Ⅱ 村山地域⇔最上地域	3,228	29.5%	387	20.4%		38.9%		10.8%	JR山形新幹線、JR仙山線、高速バス1系統、路線バス1系統	157,764
村山地域⇔置賜地域	6,147	56.2%	1,143	60.4%		48.0%		34.7%	JR山形新幹線、JR山形線、高速バス2系統、路線バス1系統	105,009
村山地域⇔庄内地域	822	7.5%	163	8.6%		8.5%		37.6%	高速バス3系統、路線バス5系統、コミュニティ交通（西川町）	154,877
最上地域⇔置賜地域	44	0.4%	12	0.6%		0.0%		2.4%	JR山形新幹線、JR山形線	-
最上地域⇔庄内地域	615	5.6%	162	8.6%		4.5%		8.9%	JR陸羽西線、スクールバススクールバス	-
置賜地域⇔庄内地域	74	0.7%	26	1.4%		0.0%		5.6%	-	-
計	10,930	100.0%	1,893	100.0%		100.0%		100.0%	-	417,650

注）それぞれの数値の見方は、「表 2-7 主要移動軸別の移動概況（地域・県外別）」の「注」と同様

資料：H27 国勢調査、H30 年度山形県買物動向調査、R1 年度山形県観光地点パラメーター調査、路線バス事業者提供

表 2-10 主要移動軸別問題点（地域別）

主要移動軸（移動経路）		利用者視点	事業者視点（バス）
Ⅱ	村山地域⇔最上地域	-	・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
	村山地域⇔置賜地域	-	・冗長なルート割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在
	村山地域⇔庄内地域	-	・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 ・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
	最上地域⇔庄内地域	・定期路線バスは存在しないが、鉄道等、一部観光流動あり	-

注）問題提起がない特定の主要移動軸は未掲載。

主要移動軸（移動経路）		移動概況								対応する公共交通	
		通勤（H27）		通学（H27）		買い物（H30）		観光（R1）		路線・系統	輸送人員 （高速バス・ 路線バス）
		人	%	人	%	人	%	人	%		
最上地域	新庄市⇄金山町	1,098	1.0%	107	0.9%		1.9%		0.0%	路線バス3系統	90,767
	新庄市⇄最上町	878	0.8%	175	1.5%		1.5%		0.0%	JR陸羽東線	-
	新庄市⇄舟形町	1,117	1.0%	78	0.7%		2.1%		0.0%	JR山形線、JR陸羽東線、高速バス1系統、路線バス1系統	157,764
	新庄市⇄真室川町	1,420	1.3%	142	1.2%		1.8%		0.0%	JR奥羽本線	-
	新庄市⇄大蔵村	736	0.7%	53	0.5%		1.9%		0.0%	路線バス5系統	42,416
	新庄市⇄鮭川村	971	0.9%	98	0.9%		1.6%		0.0%	JR奥羽本線、路線バス1系統、コミュニティ交通（鮭川村）	9,917
	新庄市⇄戸沢村	1,024	0.9%	83	0.7%		1.8%		0.4%	JR陸羽西線	-
	真室川町⇄鮭川村	256	0.2%	6	0.1%		0.5%		0.0%	JR奥羽本線、コミュニティ交通（鮭川村）	3,114
置賜地域	米沢市⇄南陽市	2,671	2.5%	323	2.8%		1.7%		2.7%	JR山形線、スクールバス	-
	米沢市⇄高畠町	4,418	4.1%	451	4.0%		1.6%		3.7%	JR山形線、路線バス1系統、福祉施設での送迎、スクールバス	9,750
	米沢市⇄川西町	2,509	2.3%	275	2.4%		2.1%		0.5%	JR米坂線、路線バス1系統、スクールバス	3,424
	長井市⇄南陽市	1,272	1.2%	233	2.0%		0.8%		0.1%	山形鉄道フラワー長井線、路線バス1系統	90,802
	長井市⇄川西町	1,258	1.2%	63	0.6%		1.0%		0.0%	山形鉄道フラワー長井線、JR米坂線、コミュニティ交通（長井市）	20,221
	長井市⇄小国町	203	0.2%	22	0.2%		0.8%		0.0%	JR米坂線	-
	長井市⇄白鷹町	2,296	2.1%	200	1.8%		3.1%		0.1%	山形鉄道フラワー長井線、路線バス1系統	8,146
	長井市⇄飯豊町	1,527	1.4%	73	0.6%		1.8%		0.0%	JR米坂線	-
	南陽市⇄川西町	1,347	1.2%	96	0.8%		0.9%		0.0%	山形鉄道フラワー長井線、コミュニティ交通（南陽市）	6,667
	南陽市⇄小国町	50	0.0%	6	0.1%		0.3%		0.1%	高速バス1系統	8,929
	南陽市⇄白鷹町	205	0.2%	50	0.4%		0.1%		0.0%	山形鉄道フラワー長井線、路線バス1系統	90,802
	川西町⇄小国町	55	0.1%	2	0.0%		0.1%		0.0%	JR米坂線	-
	小国町⇄飯豊町	127	0.1%	14	0.1%		0.0%		1.2%	JR米坂線、高速バス1系統	8,929
	庄内地域	鶴岡市⇄酒田市	6,188	5.7%	568	5.0%		2.7%		22.6%	JR羽越本線、高速バス25系統、路線バス8系統、福祉有償運送（鶴岡市・酒田市）、福祉施設での送迎、スクールバス
鶴岡市⇄三川町		3,035	2.8%	177	1.6%		6.1%		0.7%	福祉有償運送（鶴岡市・酒田市）、買い物客輸送バス、福祉施設での送迎	-
鶴岡市⇄庄内町		2,642	2.4%	390	3.4%		1.6%		0.8%	JR羽越本線、高速バス22系統、路線バス2系統、福祉有償運送（鶴岡市・酒田市）、スクールバス	35,530
鶴岡市⇄遊佐町		185	0.2%	25	0.2%		0.1%		8.3%	JR羽越本線、高速バス1系統、福祉有償運送（鶴岡市・酒田市）、スクールバス	11,921
酒田市⇄庄内町		4,272	3.9%	292	2.6%		4.2%		0.2%	JR羽越本線、高速バス22系統、路線バス1系統、福祉有償運送（酒田市）、福祉施設での送迎	49,564
酒田市⇄遊佐町		3,795	3.5%	342	3.0%		2.8%		9.6%	JR羽越本線、高速バス1系統、福祉有償運送（酒田市）、福祉施設での送迎	11,921
計		108,345	100.0%	11,374	100.0%		100.0%		100.0%	-	4,669,979

注) それぞれの数値の見方は、「表2-7 主要移動軸別の移動概況（地域・県外別）」の「注」と同様
資料：H27 国勢調査、H30 年度山形県買物動向調査、R1 年度山形県観光地点パラメーター調査、路線バス事業者提供

表 2-12 主要移動軸別問題点（市町村別）

主要移動軸（移動経路）		利用者視点	事業者視点（バス）	
Ⅲ	村 山 地 域	山形市⇄寒河江市	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：ヤマザワ北町店、独立行政法人国立病院機構山形病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 ・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
		山形市⇄上山市	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：日本大学山形高等学校、山形大学、ヤマザワ上山店、おーばん上山店、ファッションセンターしまむら上山店、スーパースポーツゼビオ山形吉原店、国立大学法人山形大学医学部附属病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 ・冗長なルート割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在 ・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在 ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
		山形市⇄天童市	-	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 ・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在 ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
		山形市⇄山辺町	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：やまのベシッピングプラザベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 ・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在 ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
		山形市⇄中山町	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：ヤマザワ北町店、ヤマザワ中山店、独立行政法人国立病院機構山形病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 ・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在 ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
		山形市⇄河北町	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在

主要移動軸（移動経路）		利用者視点	事業者視点（バス）
		幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：ヤマザワ北町店、独立行政法人国立病院機構山形病院	
	山形市⇄西川町	-	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
	山形市⇄朝日町	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を歩いていない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：やまのベショップングプラザベル 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在
	寒河江市⇄河北町	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を歩いていない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：山形県立河北病院 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
	寒河江市⇄西川町	-	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
	寒河江市⇄朝日町	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
	寒河江市⇄大江町	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
	村山市⇄東根市	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
	村山市⇄尾花沢市	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念

主要移動軸（移動経路）	利用者視点	事業者視点（バス）
村山市⇔河北町	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：新鮮館ベル河北店 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
村山市⇔大石田町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
天童市⇔東根市	-	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
東根市⇔尾花沢市	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
東根市⇔大石田町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
東根市⇔河北町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
尾花沢市⇔大石田町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 ・国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在 ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
山辺町⇔朝日町	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：やまのベシヨッピングプラザベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
中山町⇔河北町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在
河北町⇔朝日町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
河北町⇔大江町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 ・介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
西川町⇔大江町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
朝日町⇔大江町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
新庄市⇔金山町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化が進行しており、

主要移動軸（移動経路）		利用者視点	事業者視点（バス）
置賜地域	新庄市⇔舟形町	-	<ul style="list-style-type: none"> バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
	新庄市⇔大蔵村	-	<ul style="list-style-type: none"> 冗長なルートの割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在
	新庄市⇔鮭川村	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線が存在
	真室川町⇔鮭川村	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 他の流動における幹線系統の追加と合わせて、フィーダー系統として捉え直すことで効率化・補助対象化するバス路線も存在
	米沢市⇔高畠町	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：ヨークベニマル米沢門東町店、わくわくコマレオ米沢店 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
	米沢市⇔川西町	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：徳町ショッピングセンター（ヤマダ電機テックランド米沢店）、ヨークベニマル米沢門東町店、わくわくコマレオ米沢店 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在
	長井市⇔南陽市	-	<ul style="list-style-type: none"> 冗長なルートの割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在
	長井市⇔川西町	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
	長井市⇔白鷹町	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
	南陽市⇔川西町	-	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
南陽市⇔小国町	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通過していない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） 	-	

主要移動軸（移動経路）		利用者視点	事業者視点（バス）
庄内地域		…具体例：白い森ショッピングセンターアスモ	
	南陽市⇄白鷹町	-	<ul style="list-style-type: none"> 冗長なルートの割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在
	小国町⇄飯豊町	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通っていない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：白い森ショッピングセンターアスモ 	-
	鶴岡市⇄酒田市	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通っていない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：酒田南高等学校、くらしのセンターコープ千石、日本海酒田リハビリテーション病院、鶴岡協立病院 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 冗長なルートの割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在 国庫補助対象の補助要件を満たす可能性が高いが未申請の幹線バス路線の存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
	鶴岡市⇄三川町	-	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念
	鶴岡市⇄庄内町	-	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
酒田市⇄庄内町	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内又は近傍を通っていない又は敷地前まで乗り入れていない幹線バス路線が存在（支線バスは乗り入れあり） …具体例：酒田南高等学校、余目ショッピングモール、日本海家具センター大滝、日本海酒田リハビリテーション病院 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さいバス路線が存在 人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在 複数の介護福祉施設による無料送迎サービスが市町村間を跨いで実施されており、公共交通事業との重複が懸念 	

注) 問題提起がない特定の主要移動軸は未掲載。

資料：山形県調べ

2-4 インフラ・施設動向（インフラ整備、主要施設の立地・移転等）

2-4-1 インフラ

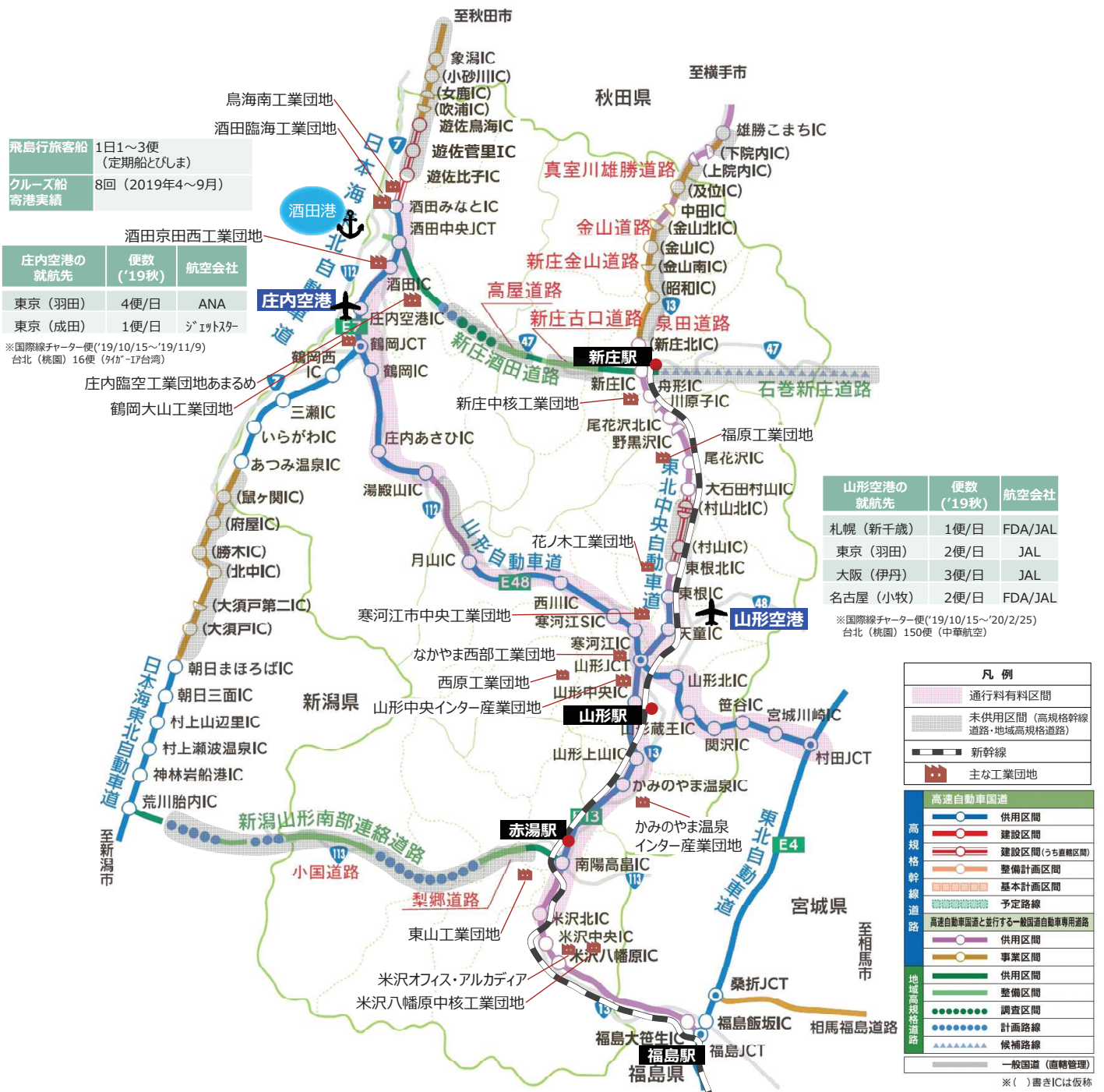


図 2-13 山形県の空港、道路、鉄道の状況

資料：国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所に追記

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/road/roadmap/map.html>

注) R 2 年 1 2 月末時点。図中の便数の情報は R 1 年秋時点。

2-4-2 施設立地

大規模商業施設、病院、教育機関の施設立地は、概ね鉄道駅等、公共交通ネットワークの近傍に位置している。

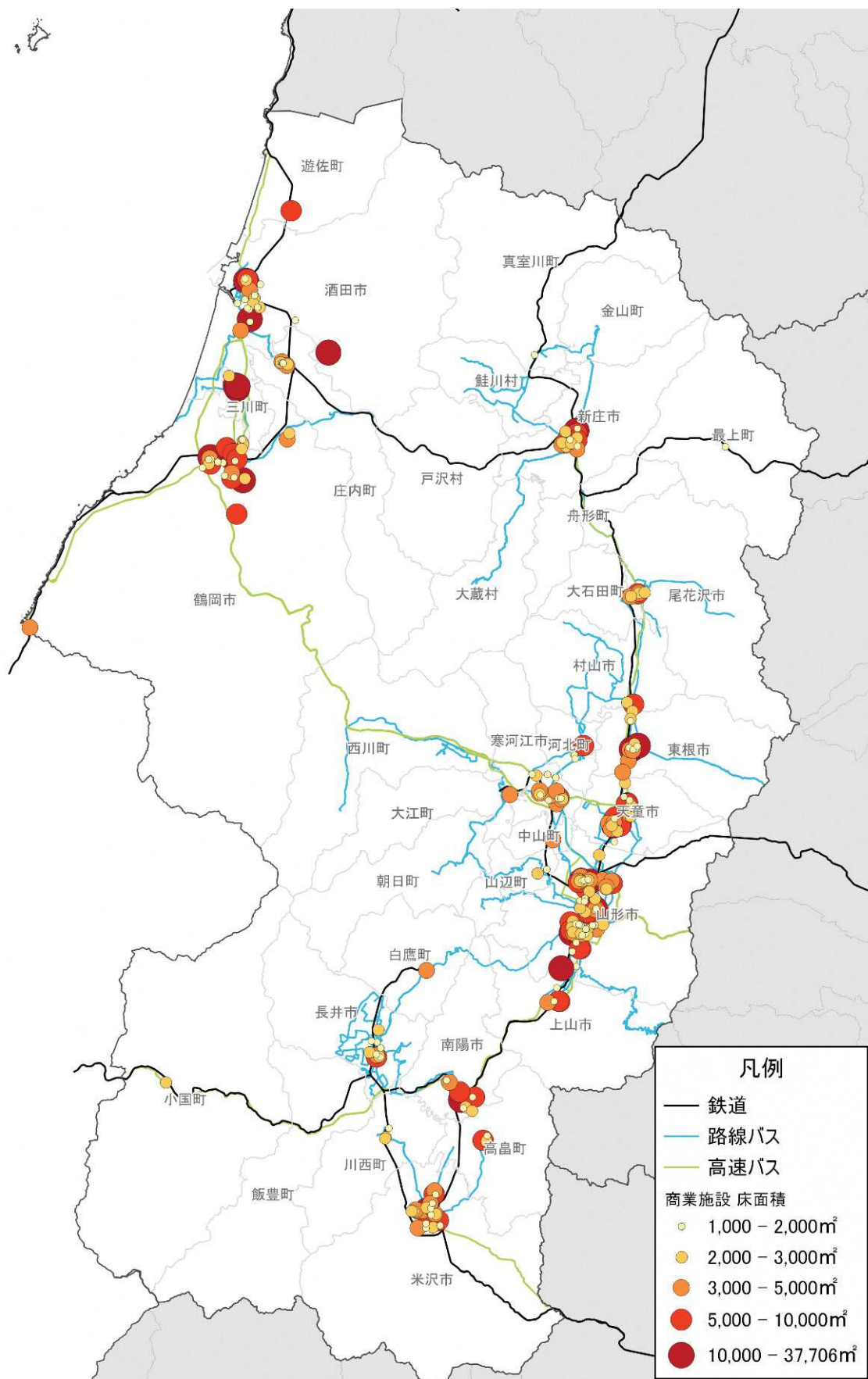


図 2-14 大規模商業施設立地状況 (R1.7.1)

資料：全国大型小売店舗総覧 2020

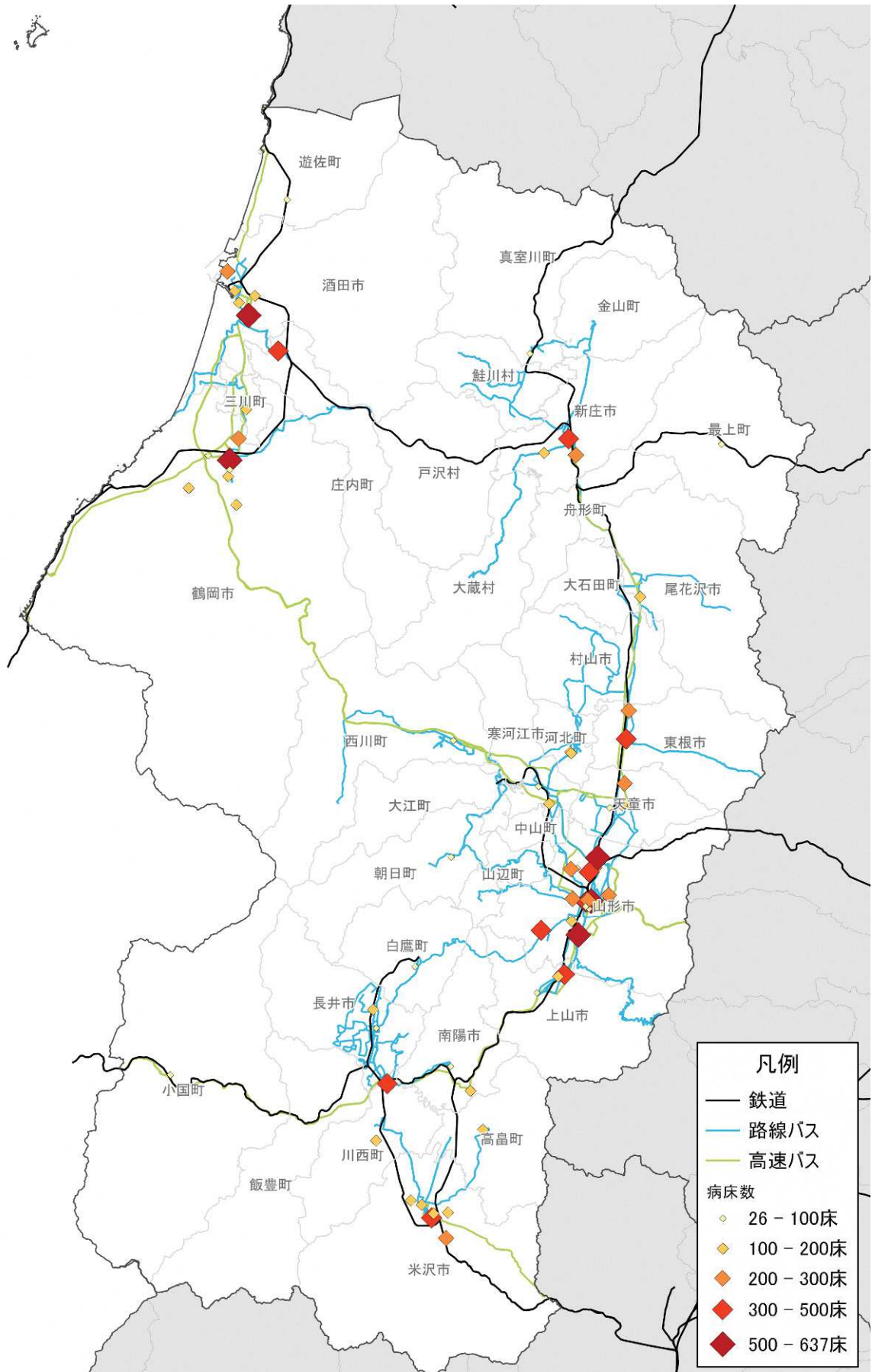


図 2-15 病院立地状況 (R2.12)

資料：山形県

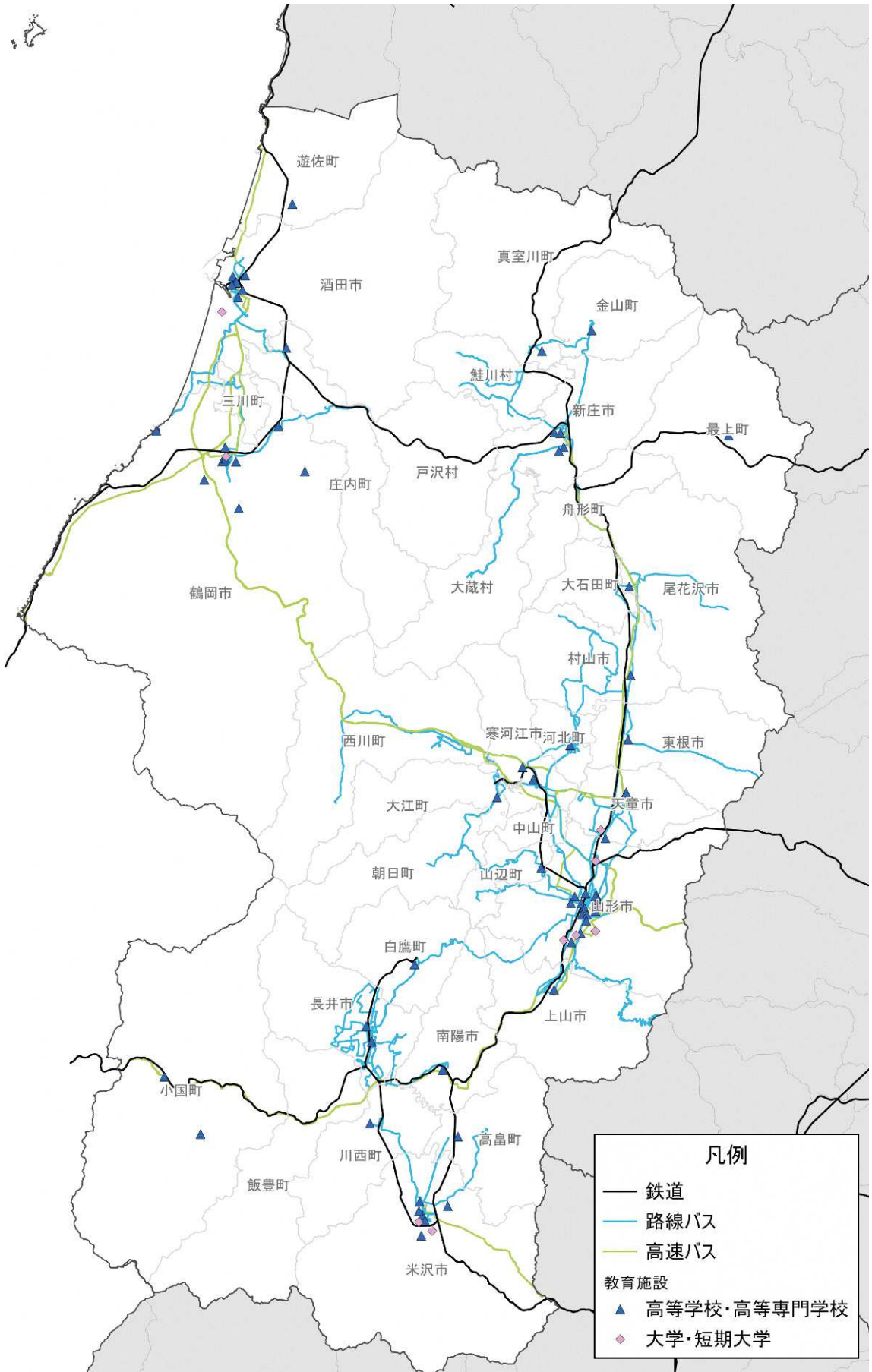


図 2-16 教育施設立地状況 (R2.12)

資料：山形県

2-4-3 主な施設の移転予定・構想

表 2-13 新設予定の施設情報

地域	市町村名	施設の名称	予定・構想の熟度	利用開始時期	新設予定の住所	備考
村山地域	山形市	(仮称) 山形北インター産業団地	設計段階	R9年度(予定)	山形市寺西・千石・西越地内	
		道の駅(仮称)蔵王	計画段階	R5年度(予定)	山形市表蔵王地内	
		(仮称) 山形市南部への児童遊戯施設	建設中	R4年3月(予定)	山形市大字片谷地内	
	上山市	かみのやま温泉インター産業団地	建設中	R3年4月(予定)	上山市藤吾地内	
天童市	山形市	山口西工業団地	建設中	R2年度 一部造成工事完成	天童市大字山口字大石	
		新庄市	東北農林専門職大学(仮称)	計画段階	R5年開校予定	新庄市大字角沢地内
最上地域	舟形町	福祉避難所	建設中	R3年4月	舟形町舟形字ハリヨ4550-1	
		防災拠点施設	建設中	R3年4月	舟形町舟形字149-2	
		公共複合型施設	計画段階	R5年度中	長井市本町一丁目	
置賜地域	長井市	県立米沢養護学校中学部・高等部分校	構想段階	R5年度中	長井市小出	長井市歌丸(豊田小学校内)
		新湯浴施設	計画段階	R4年度	南陽市赤湯3004-1	※温泉事務所、公衆浴場等を統合し新設
	南陽市	(仮称) 中川産業団地	構想段階		南陽市中川地内	
庄内地域	酒田市	酒田駅前交流拠点施設ミライニ	建設中	R2年11月28日 (一部)	酒田市幸町一丁目10番1号	
		鶴岡市	鶴岡市第二合同庁舎	建設中	R4年	山形県鶴岡市馬場町2
	鶴岡市	中高一貫校設立	構想段階	R6年	山形県鶴岡市若葉町16-5 山形県鶴岡市若葉町26-31	

資料：山形県調べ

表 2-14 移転予定の施設情報

地域	市町村名	施設の名称	予定・構想の熟度	利用開始時期	移転後の住所	移転前の住所
村山地域	山形市	山形市民会館	構想段階	未定	山形市七日町三丁目1-23	山形市香澄町二丁目9-45
	河北町	ヤマザワ 谷地店	竣工済	R2年12月10日	山形県西村山郡河北町谷地字月山堂1158-1	山形県西村山郡河北町谷地字砂田68-1
最上地域	新庄市	県立新庄病院	建設中	R5年秋頃利用開始	新庄市金沢地内	新庄市若葉町12-55
		新庄警察署	建設中	R3年7月完成予定	新庄市大字松本地内	新庄市新町5-19
置賜地域	真室川町	真室川町役場	竣工済	R3年1月4日	山形県最上郡真室川町大字新町124-4	山形県最上郡真室川町大字新町127-5
		米沢市	関根小学校	竣工済	R3年	米沢市通町四丁目10-15 松川小学校
	松川小学校	計画段階	R9~13年	米沢市東一丁目6-102 東部小学校	米沢市通町四丁目10-15	
	三沢東部小学校	計画段階	~R8年	米沢市直江町5-34 西部小学校	米沢市築沢3401	
	三沢西部小学校	計画段階	~R8年	米沢市直江町5-34 西部小学校	米沢市大字口田沢2361-1	
	愛宕小学校	計画段階	R9~13年	米沢市直江町5-34 西部小学校	米沢市御廟三丁目10-1	
	関小学校	竣工済	R3年	米沢市大字南原笹野町2984 南原小学校	大字立石2565	
	南原小学校	計画段階	R9~13年	米沢市門東町一丁目2-31 南部小学校	米沢市大字南原笹野町2984	
	万世小学校	計画段階	R9~13年	米沢市大字竹井1383 上郷小学校	米沢市八幡原五丁目3948-4	
	広幡小学校	計画段階	~R8年	米沢市六郷町西藤泉160 第六中学校	米沢市広幡町上小菅1396	
	六郷小学校	計画段階	~R8年	米沢市六郷町西藤泉160 第六中学校	米沢市六郷町一漆40-1	
	塩井小学校	計画段階	~R8年	米沢市六郷町西藤泉160 第六中学校	米沢市塩井町塩野3760	
	第五中学校	計画段階	R7~10年	米沢市駅前四丁目3-51 第一中学校	米沢市東大通一丁目1-82	
	第七中学校	計画段階	R7~10年	米沢市駅前四丁目3-51 第一中学校	米沢市大字川井108-3	
	第三中学校	計画段階	R7~10年	米沢市林泉寺二丁目2-5 第二中学校	米沢市鶴山二丁目4-58	
	第六中学校	計画段階	R7~10年	米沢市春日四丁目2-69 第四中学校	米沢市六郷町西藤泉160	
	三友堂病院	設計段階	R5年	米沢市相生町6-36 市立病院付近	米沢市中央六丁目1-219	
	長井市	長井市役所	建設中	R3年5月6日	長井市栄町1番1号	長井市ままの上5番1号
	南陽市	(仮称) 宮内地区地域交流センター	構想段階	R6年度	南陽市宮内地内	南陽市宮内3478
	高畠町	高畠町役場庁舎	計画段階	R7年度	東置賜郡高畠町大字高畠436番地	同左
高畠町中央公民館		計画段階	R7年度	東置賜郡高畠町大字高畠436番地	東置賜郡高畠町大字高畠435	
川西町	川西町役場	建設中	R3年5月	川西町大字上小松977-1	川西町大字上小松1567	
庄内地域	鶴岡市	鶴岡市社会福祉協議会	構想段階	R4年	山形県鶴岡市山王町13-36	山形県鶴岡市泉町5

資料：山形県調べ